

# クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

2017年2月18日

名古屋工業大学大学院 工学研究科 社会工学専攻

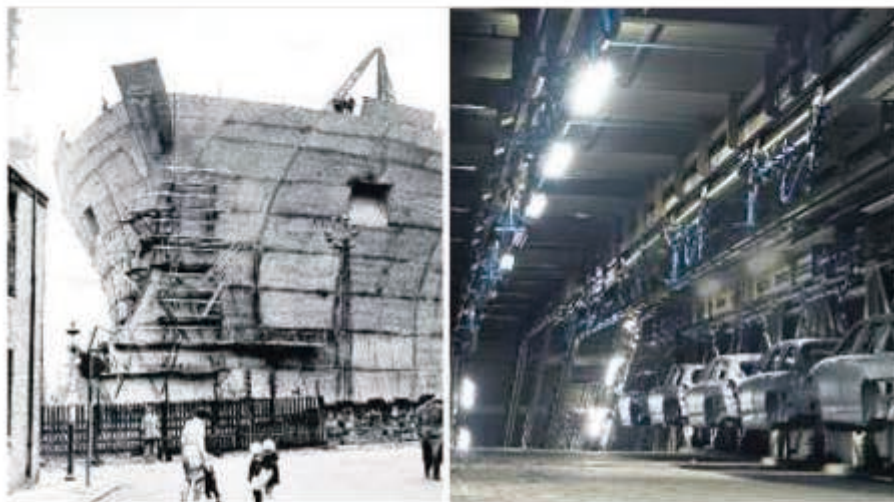
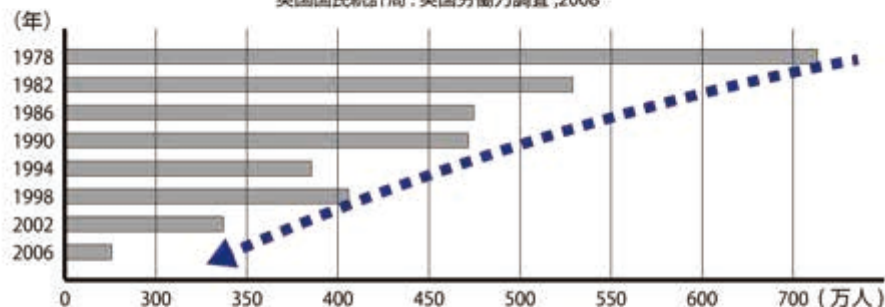
伊藤孝紀研究室

三宅 航平

## 背景 - 製造業の衰退

## [製造業の労働者数]

英国国民統計局: 英国労働力調査, 2008



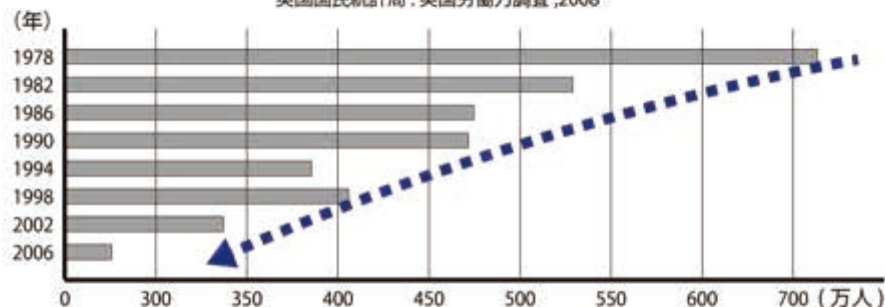
引用元: 製造業を見捨てたイギリスの現状

製造業の衰退による雇用の減少

## 背景 - 製造業の衰退

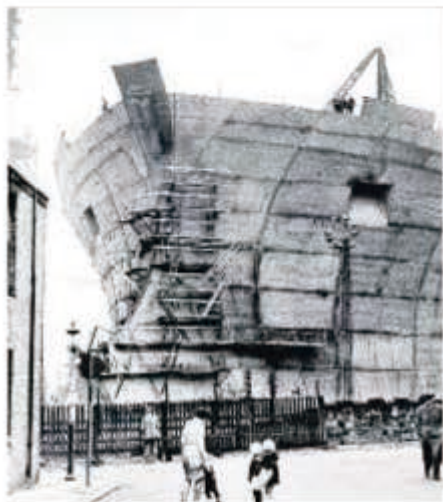
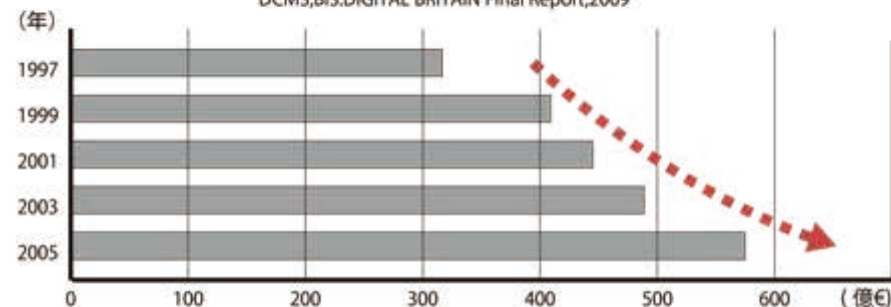
## [製造業の労働者数]

英国国民統計局：英国労働力調査,2008



## [クリエイティブ産業の粗付加価値額]

DCMS,BIS:DIGITAL BRITAIN Final Report,2009



引用元：製造業を見捨てたイギリスの現状

製造業の衰退による雇用の減少



引用元：PHOTO・VISIBLE.COM クールブリタニア

イギリスのクールブリタニア政策（1997）

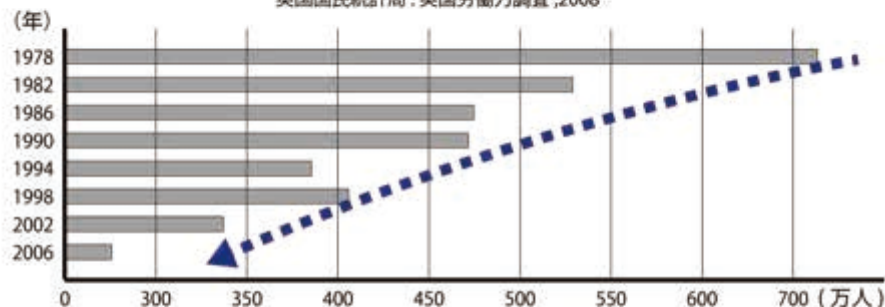
## クリエイティブ産業における都市構造の試論

-ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性-

## 背景 - 製造業の衰退

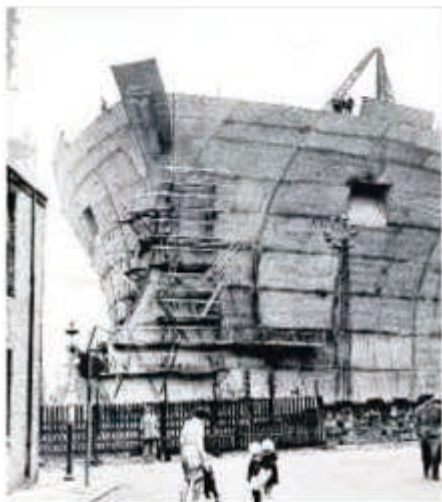
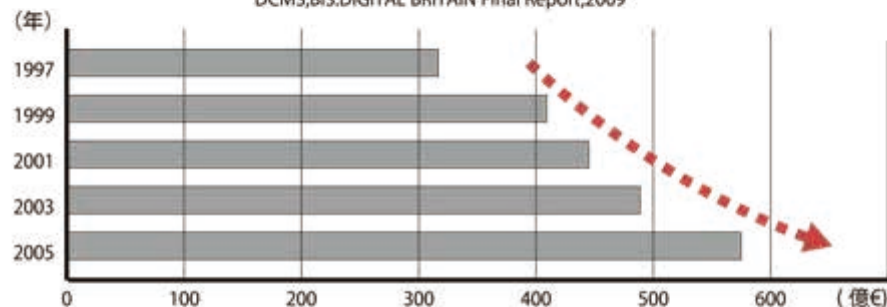
## [製造業の労働者数]

英国国民統計局: 英国労働力調査, 2008



## [クリエイティブ産業の粗付加価値額]

DCMS, BIS: DIGITAL BRITAIN Final Report, 2009



引用元: 製造業を見捨てたイギリスの現状



引用元: PHOTO・VISIBLE.COM クールブリタニア

## 工業社会から知識重視社会への移行

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 背景 - クリエイティブ産業の定義

[知識重視社会における中心的産業]



ファッション (fashion)

引用元：AFP BB NEWS



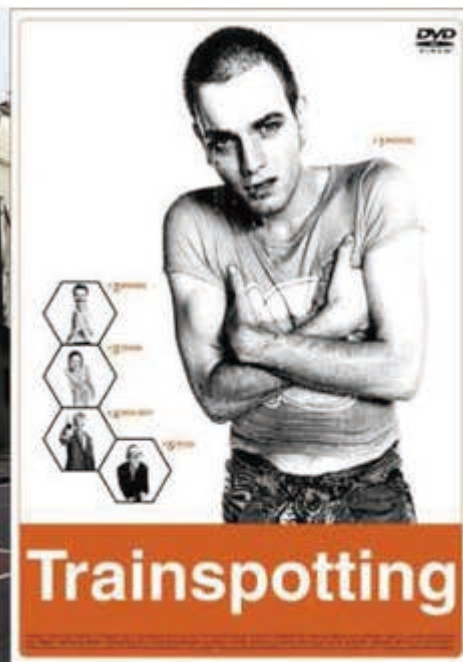
アニメ (animation)

引用元：ドラゴンボールZ



アート (art)

引用元：ART&amp;SOCIETY RESEARCH CENTER



映画 (movie)

引用元：Trainspotting

イギリス（1997）による13分類

デザイン / 広告 / 建築 / アートと骨董 / 工芸 / ファッション / ソフトウェア /  
ゲーム / 音楽 / 舞台美術 / 出版 / TV とラジオ

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 背景 - クリエイティブ産業に関する国内の取組み

### [クールジャパン政策]



COOLJAPAN 推進室を設置 (2010 年)  
文化やライフスタイルの魅力を付加価値に変える

### [クールジャパン機構]



引用元：経済産業省 フォトギャラリー

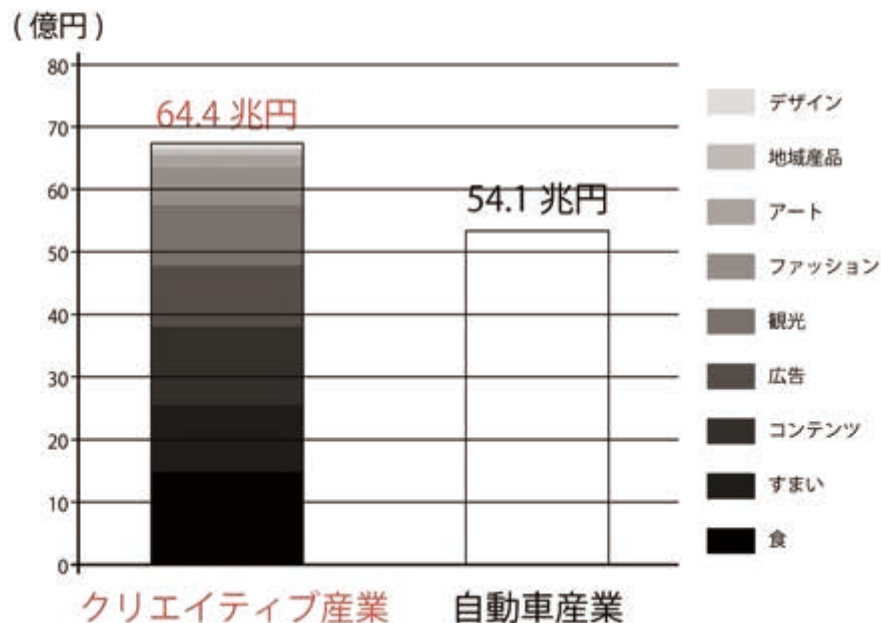
官民ファンドとして設立 (2013 年)  
様々な分野でリスクマネーの供給をおこなう

海外需要を獲得し、日本の経済成長につなげる支援・促進

## 背景 - クリエイティブ産業の産業規模\*

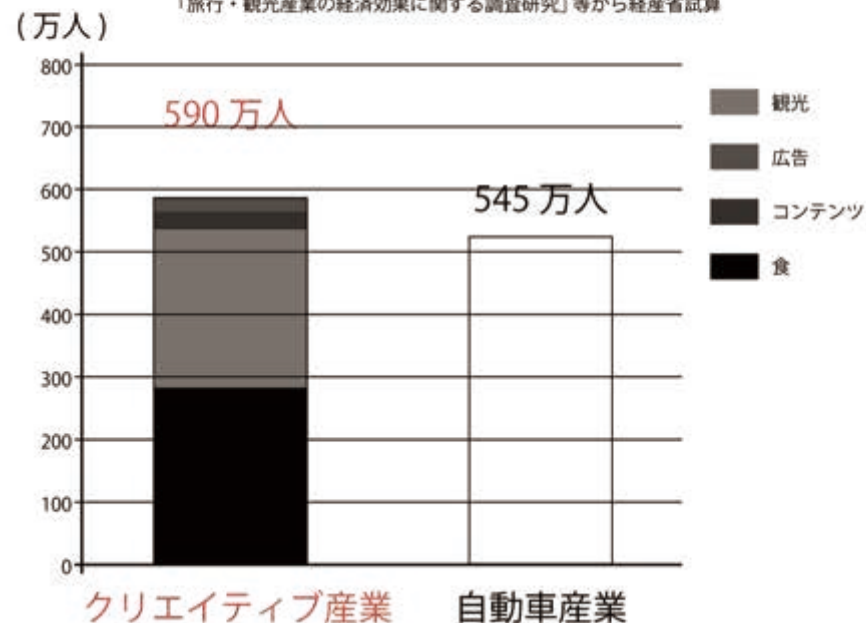
## 〔国内総生産〕

経済産業省委託調査事業,2011



## 〔雇用規模〕

「事業所・企業統計調査」「特定サービス業実態調査」「情報通信業基本調査」「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」等から経産省試算



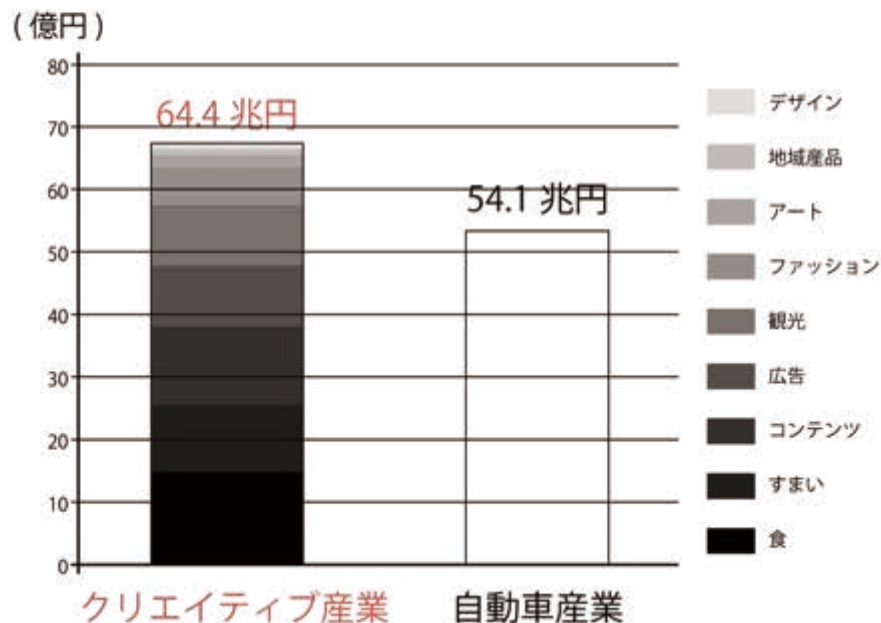
国内のクリエイティブ産業は自動車産業を上回る規模

\*経済産業省：クリエイティブ産業の現状と課題,2014

## 背景 - クリエイティブ産業の産業規模

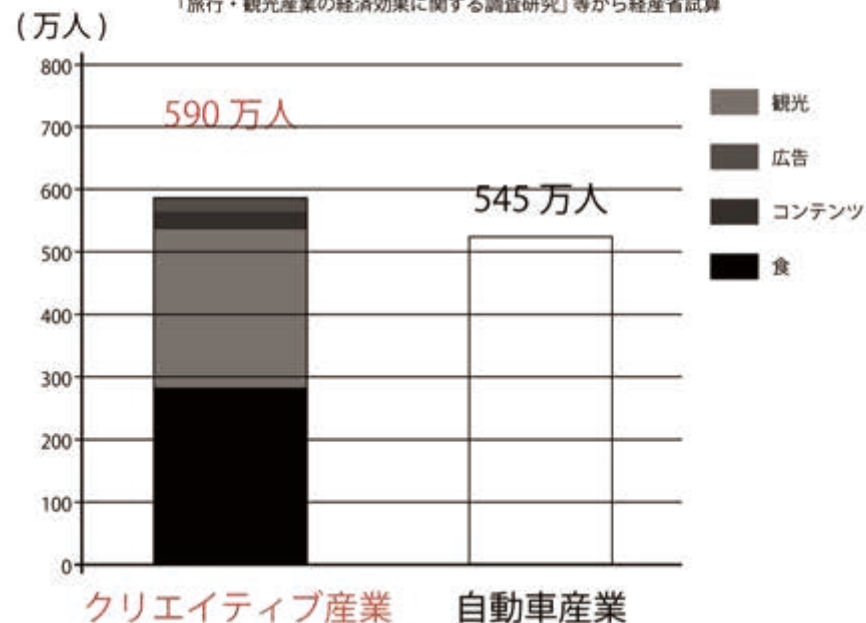
[国内総生産]

経済産業省委託調査事業, 2011



[雇用規模]

「事業所・企業統計調査」「特定サービス業実態調査」「情報通信業基本調査」「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」等から経産省試算



国内のクリエイティブ産業は自動車産業を上回る規模

世界のクリエイティブ産業市場は 2020 年に 900 兆円以上になる予測



# 背景 - クリエイティブ産業の特徴



## 都市に集積する側面

## 背景 - クリエイティブ産業に関する国内の取組み

### [クールジャパン政策]



COOLJAPAN 推進室を設置 (2010 年)  
文化やライフスタイルの魅力を付加価値に変える

### [クールジャパン機構]



引用元：経済産業省 フォトギャラリー

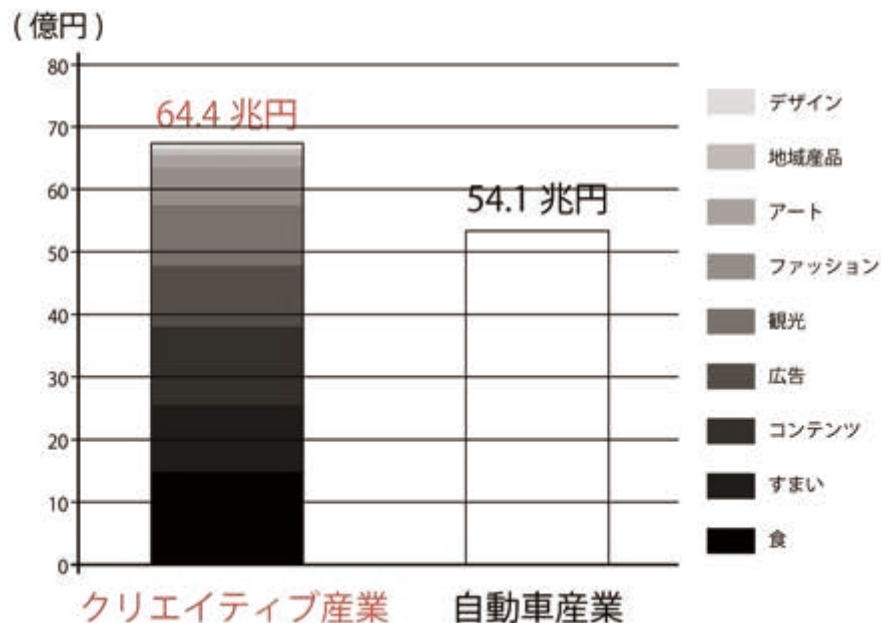
官民ファンドとして設立 (2013 年)  
様々な分野でリスクマネーの供給をおこなう

海外需要を獲得し、日本の経済成長につなげる支援・促進

## 背景 - クリエイティブ産業の産業規模\*

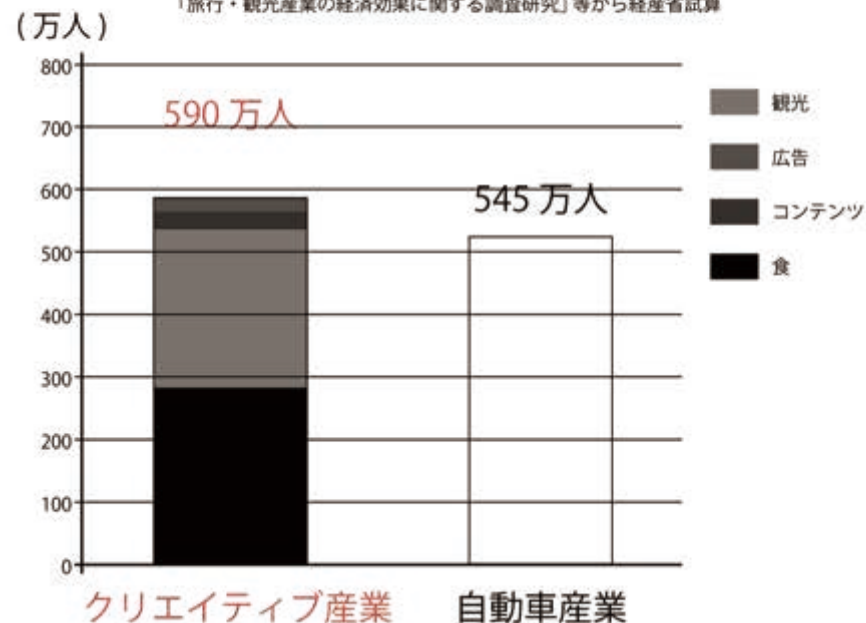
## [国内総生産]

経済産業省委託調査事業,2011



## [雇用規模]

「事業所・企業統計調査」「特定サービス業実態調査」「情報通信業基本調査」「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」等から経産省試算



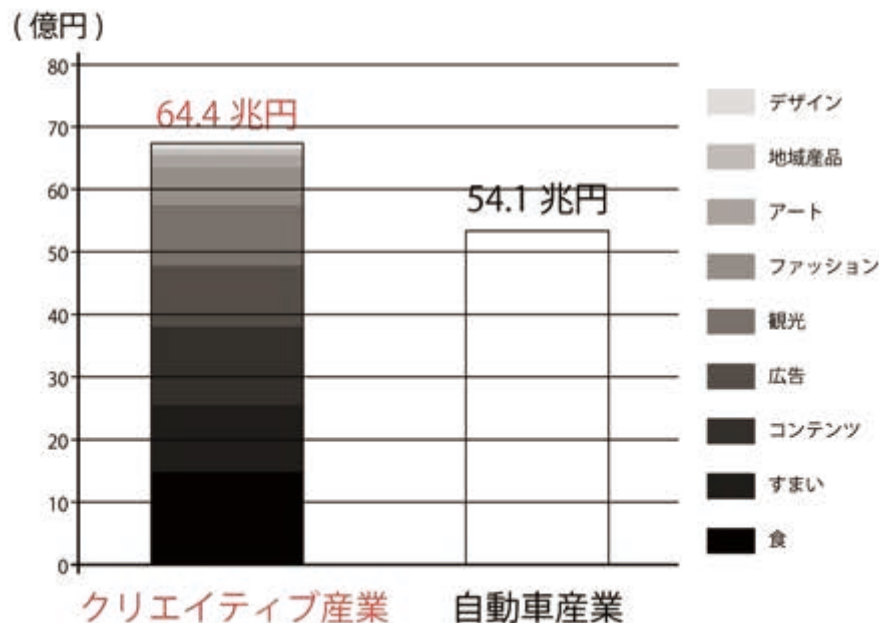
国内のクリエイティブ産業は自動車産業を上回る規模

\*経済産業省：クリエイティブ産業の現状と課題,2014

## 背景 - クリエイティブ産業の産業規模

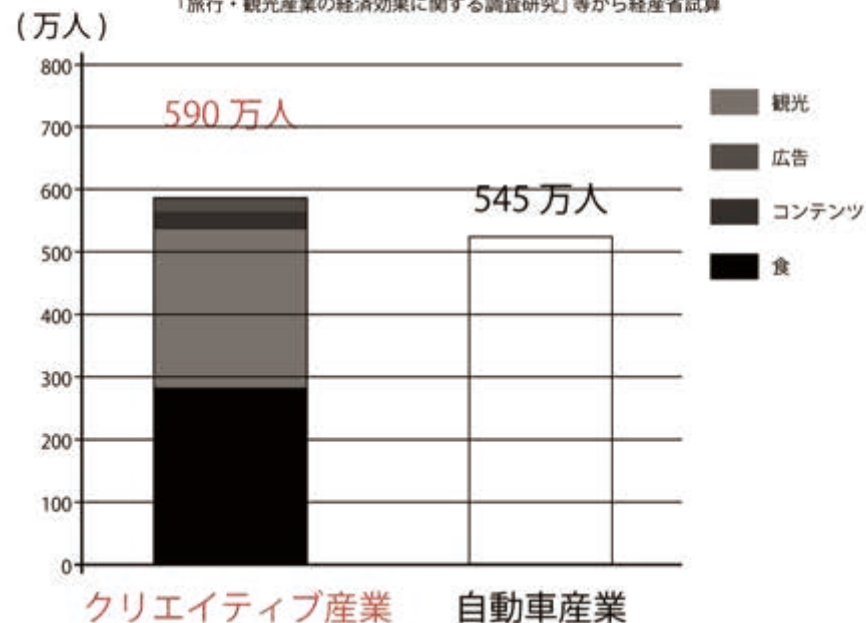
[国内総生産]

経済産業省委託調査事業, 2011



[雇用規模]

「事業所・企業統計調査」「特定サービス業実態調査」「情報通信業基本調査」「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」等から経産省試算



国内のクリエイティブ産業は自動車産業を上回る規模

世界のクリエイティブ産業市場は 2020 年に 900 兆円以上になる予測



# 背景 - クリエイティブ産業の特徴



引用元：独立行政法人経済産業研究所 文化創造都市戦略

**[ハード面]**

- 公開空地
- 公共空間
- 街路空間
- オフィス空間
- etc.

**[ソフト面]**

- 情報発信
- ブランド戦略
- オフィス空間
- 人材育成
- etc.

都市に集積する側面

集積の基盤となる都市構造

産業振興のために都市構造のハード・ソフト面が重要

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

-ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性-

## 目的

## [環境デザイン]\*

マクロ（都市的）スケール

メソ（街区的）スケール

ミクロ（建築的）スケール

\*G.T.ムーア,D.P.タトル,S.C.ハウエル：環境デザイン学入門-その導入過程と展望,1997

環境デザインとは、環境を取り巻く、様々な分野との関係のデザイン

▶段階的なスケールによって、全体から部分までを捉えることが重要

## 目的

[環境デザイン]\*

[都市構造]

マクロ（都市的）スケール

メソ（街区的）スケール

ミクロ（建築的）スケール

ハード面

ソフト面

都市構造をハード・ソフト面に分類し、スケール毎に明らかにする



## 調査概要

STEP1

文献調査 [書籍]

STEP2

文献調査 [報告書] , ヒアリング調査

STEP3

文献調査 [報告書] , 現地踏査

STEP4

現地踏査

## 調査概要

## STEP1

文献調査 [書籍]

## STEP2

文献調査 [報告書], ヒアリング調査

## STEP3

文献調査 [報告書], 現地踏査

## STEP4

現地踏査

&lt;対象文献&gt; クリエイティブ産業に関する文献

## クリエイティブ産業の指標

## 都市構造

## ハード面

マクロスケール

メソスケール

ミクロスケール

## ソフト面

マクロスケール

メソスケール

ミクロスケール

先行研究の変遷を把握し、クリエイティブ産業の指標を設定

## 調査概要

## STEP1

文献調査 [書籍]

## STEP2

文献調査 [報告書], ヒアリング調査

## STEP3

文献調査 [報告書], 現地踏査

## STEP4

現地踏査

&lt;対象都市&gt; クリエイティブ産業の集積する都市

アムステルダム



ベルリン



引用元：Google Map

指標を用いて、マクロスケールの特徴を都市毎に把握

## 調査概要

## STEP1

文献調査 [書籍]

## STEP2

文献調査 [報告書], ヒアリング調査

## STEP3

文献調査 [報告書], 現地踏査

## STEP4

現地踏査

## &lt; 対象地区 &gt; 用途が転換した地区

## アムステルダム

T1 NDSM-Werf



対象地区

T2 ウェスターガスファブリーク



対象地区

## ベルリン

T3 フリードリヒスハイン・レヴァレー通り



対象地区

T4 ハッケシャーホーフ



対象地区

引用元：Google Map

指標を用いて、メソスケールの特徴を街区毎に把握

## 調査概要

## STEP1

文献調査 [書籍]

## STEP2

文献調査 [報告書], ヒアリング調査

## STEP3

文献調査 [報告書], 現地踏査

## STEP4

現地踏査

## &lt; 対象建築 &gt; 対象地区の建築

## アムステルダム

T1 NDSM-Werf



T2 ウェスターガスファブリーク



## ベルリン

T3 フリードリヒスハイン・レヴァレー通り



T4 ハッケシャーホーフ

指標を用いて、ミクروسケールの特徴を建築毎に把握

## 指標の設定

表. マクロスケールの指標

	指標	概要
ソフト面	A 税制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インセンティブを与え、産業構造の転換を促進</li> <li>・ 創造的で優秀な人材の誘致、海外からの投資を促進</li> </ul>
	B 産業組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取引費用の低減、知識・経験・ノウハウの蓄積、創造を担う人的ネットワークによる、イノベーションや人材の誘致</li> <li>・ 創造と流通の対等な関係と創造のネットワーク形成による、新ビジネスの創出</li> </ul>
	C 場所のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業の空間集積に影響する、ストックとしての文化、資産</li> <li>・ 場所の持つ文化や資産、イメージを製品の創造プロセスが吸収</li> </ul>
	D 多様な人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異なる年齢、社会階級、民族や人種グループ、ライフスタイルの人々によるインフォーマルな交流</li> </ul>
ハード面	E 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサーチセンター、教育施設、コワーキングスペースなどによる人々の交流やイノベーションの促進</li> <li>・ 経年の浅い企業やビジネスに対する、創造的環境としての安価な土地と建物</li> </ul>

マクロスケールの特徴を把握するために 5 項目を設定

## 都市毎の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン
ソフト面	<b>A. 税制</b> [法人所得税率] ・25.0% [イノベーションボックス税制] ・オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率5.0% [所得税減免] ・専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の30%を8年間減免 [資本参加免除] ・株式保有に基づく利益の法人税免除 [研究開発のための資金費用税額控除] ・一企業あたり最大控除額1400万€	
	<b>B. 産業組織</b> [人的ネットワーク] ・政府によるスタートアップ企業の起業、成長を促す事業 ・大学と産業界の専門領域を横断するネットワーク ・研究面における「官・民・学」の緻密な協力関係 [知識・経験・ノウハウの蓄積] ・政府によるクリエイティブ産業の産業セクター化 [創造・流通の関係] ・世界最高水準の最先端ITインフラ、広範囲ブロードバンドネットワークによるインターネットへの高い接続性	[人的ネットワーク] ・政府によるスタートアップ企業を推進するクラウドファンディングのポータルサイト ・議会や政府、産業界、学問のトップ団体の連携 [知識・経験・ノウハウの蓄積] ・2005年、ユネスコ・クリエイティブ・シティーズ・ネットワーク、デザイン分野の登録 [創造・流通の関係] ・メディア部門のクリエイティブ企業数37000社以上
	<b>C. 場所のイメージ</b> [都市ブランド] ・「アイアムアムステルダム (I amsterdam)」2004年から、アムステルダム市の統合的なマーケティング戦略として都市ブランド発信事業を展開 [地域資産] ・寛容でオープンな気風、オランダアバンギャルドのイメージ	[都市ブランド] ・「ベルリンになろう (Be Berlin)」2008年から、ベルリン市政府に代わり、ベルリン・パートナーが都市ブランド発信事業を展開 [地域資産] ・オープンでオルタナティブ、反抗的な気風や起業家精神、アンダーグラウンドな資産
	<b>D. 多様な人材</b> [クリエイティブクラス] ・46.0% (全労働人口を100%) [多国籍] ・外国企業の数6000社以上 ・日本企業は約400社	[クリエイティブクラス] ・39.3% (全労働人口を100%) [年齢] ・35歳未満の人口48.0% [多国籍] ・189カ国の外国人
	<b>E. 施設</b> [コワーキングスペース] ・「シーツ・ツー・ミート」オランダの77ヶ所で展開、企業と個人のマッチングを実施 [低賃料のワークスペース] ・「ブリーディング・スペース・ファンド」政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供 ・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計、事業計画に参画 [研究機関] ・世界大学ランキング、欧州上位20大学中7大学が立地 ・政府による高度技術研究所の複数設立 [ハブ機関] ・欧州最大のロッテルダム港、欧州の航空貨物ハブ・スキポール空港に近接	[コワーキングスペース] ・ベルリンの40ヶ所以上で展開 [低賃料のワークスペース] ・平均賃料が15.10€/㎡/月 ・職住近接が可能 [安価な住環境] ・平均家賃が11.09€/㎡/月 [大企業の支援] ・アクセラレーターが8、イノベーションセンターが11、リサーチセンターが15以上 [研究機関] ・大学が45、テクノロジーパークとビジネスインキュベーターが22、その他の研究機関が70以上
ハード面		

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 都市毎の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン
ソフト面	<b>A. 税制</b> [法人所得税率] ・25.0% [イノベーションボックス税制] ・オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率5.0% [所得税減免] ・専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の30%を8年間減免 [資本参加免除] ・株式保有に基づく利益の法人税免除 [研究開発のための賃金費用税額控除] ・一企業あたり最大控除額 1400万€	
	<b>B. 産業組織</b> [人的ネットワーク] ・政府によるスタートアップ企業の起業、成長を促す事業 ・大学と産業界の専門領域を横断するネットワーク ・研究室における「産・官・学」の密な協力関係 [法人所得税率] ・25.0% [イノベーションボックス税制] ・オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率5.0% [所得税減免] ・専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の30%を8年間減免 [資本参加免除] ・株式保有に基づく利益の法人税免除 [研究開発のための賃金費用税額控除] ・一企業あたり最大控除額 1400万€	[人的ネットワーク] ・政府によるスタートアップ企業を推進するクラウドファンディングのポータルサイト ・議会や政府、産業、学問のトップ団体の連携 [知識・経験・ノウハウの蓄積] ・2005年、ユネスコ・クリエイティブ・シティズ・ネットワーク、デザイン分野の登録 [創造・流通の関係] ・メディア部門のクリエイティブ企業数 37000社以上
	<b>C. 場所のイメージ</b> [都市ブランド] ・「ベルリンになろう (Be Berlin)」2008年から、ベルリン市政府に代わり、ベルリン・パートナーが都市ブランド発信事業を展開 [地域資産] ・オープンでオルタナティブ、反抗的な気風や起業家精神、アンダーグラウンドな資産	
	<b>D. 多様な人材</b> [クリエイティブクラス] ・39.3% (全労働人口を100%) [年齢] ・35歳未満の人口 48.0% [多国籍] ・189カ国の外国人	
	<b>E. 施設</b> [低賃料のワークスペース] ・「フリーデニング・スペース・ファント」政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供 ・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計、事業計画に参画 [研究機関] ・世界大学ランキング、欧州上位 20 大学中 7 大学が立地 ・政府による高度技術研究所の複数設立 [ハブ機関] ・欧州最大のロッテルダム港、欧州の航空貨物ハブ・スキポール空港に近接	[コワーキングスペース] ・ベルリンの 40ヶ所以上で展開 [低賃料のワークスペース] ・平均賃料が 15.10€/ m <sup>2</sup> /月 ・離住近接が可能 [安価な住環境] ・平均家賃が 11.09€/ m <sup>2</sup> /月 [大企業の支援] ・アクセラレーターが 8、イノベーションセンターが 11、リサーチセンターが 15 以上 [研究機関] ・大学が 45、テクノロジーパークとビジネスインキュベーターが 22、その他の研究機関が 70 以上

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -



## 都市毎の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン
ソフト面	<b>A. 税制</b> [法人所得税率] ・25.0% [イノベーションボックス税制] ・オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率5.0% [所得税減免] ・専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の30%を8年間減免 [資本参加免除] ・株式保有に基づく利益の法人税免除 [研究開発のための賃金費用税額控除] ・一企業あたり最大控除額 1400万€	
	<b>B. 産業組織</b> [人的ネットワーク] ・政府によるスタートアップ企業の起業、成長を促す事業 ・大学と産業界の専門領域を横断するネットワーク ・研究室における「産・官・学」の密な協力関係	[人的ネットワーク] ・政府によるスタートアップ企業を推進するクラウドファンディングのポータルサイト ・議会や政府、産業界、学問のトップ団体の連携 [知識・経験・ノウハウの蓄積] ・2005年、ユネスコ・クリエイティブ・シティーズ・ネットワーク、デザイン分野の登録 [創造・流通の関係] ・メディア部門のクリエイティブ企業数 37000社以上
	<b>C. 場所のイメージ</b> [法人所得税率] ・25.0% [イノベーションボックス税制] ・オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率5.0% [所得税減免] ・専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の30%を8年間減免	[都市ブランド] ・「ベルリンになろう(Be Berlin)」2008年から、ベルリン市政府に代わり、ベルリン・パートナーが都市ブランド発信事業を展開 [地域資産] ・オープンでオルタナティブ、反抗的な気風や起業家精神、アンダーグラウンドな資産
	<b>D. 多様な人材</b> [資本参加免除] ・株式保有に基づく利益の法人税免除 [研究開発のための賃金費用税額控除] ・一企業あたり最大控除額 1400万€	[クリエイティブクラス] ・39.3%（全労働人口を100%） [年齢] ・35歳未満の人口 48.0% [多国籍] ・189カ国の外国人
	<b>E. 施設</b> [低賃料のワークスペース] ・「フリーディング・スペース・ファント」政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供 ・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計	[コワーキングスペース] ・ベルリンの40ヶ所以上で展開 [低賃料のワークスペース] ・平均賃料が15.10€/㎡/月 ・居住近接が可能 [安価な住環境] ・平均家賃が11.09€/㎡/月 [大企業の支援] ・アクセラレーターが8、イノベーションセンターが11

所得税や法人税減免といった税制により創造的な人材、企業を誘致

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 都市毎の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン	
ソフト面	A. 税制	[コワーキングスペース] ・オランダの77ヶ所で展開，企業と個人のマッチングを実施	[コワーキングスペース] ・ベルリンの40ヶ所以上で展開
	B. 産業組織	[低賃料のワークスペース] ・政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供 ・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物の設計、事業計画に参画	[低賃料のワークスペース] ・平均賃料が15.10€/m <sup>2</sup> /月 ・職住近接が可能
		[研究機関] ・世界大学ランキング、欧州上位20大学中7大学が立地 ・政府による高度技術研究所の複数設立	[安価な住環境] ・平均家賃が11.09€/m <sup>2</sup> /月
	C. 場所のイメージ	[大企業の支援] ・アクセラレーターが8、イノベーションセンターが11、リサーチセンターが15以上	[大企業の支援] ・アクセラレーターが8、イノベーションセンターが11、リサーチセンターが15以上
D. 多様な人材	[研究機関] ・大学が45、テクノロジーパークとビジネスインキュベーターが22、その他の研究機関が70以上	[研究機関] ・大学が45、テクノロジーパークとビジネスインキュベーターが22、その他の研究機関が70以上	
ハード面	E. 施設	[コワーキングスペース] ・「シーツ・ツー・ミート」オランダの77ヶ所で展開，企業と個人のマッチングを実施	[コワーキングスペース] ・ベルリンの40ヶ所以上で展開
	[低賃料のワークスペース] ・「フリーディング・スペース・ファンド」政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供 ・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物の設計、事業計画に参画	[低賃料のワークスペース] ・平均賃料が15.10€/m <sup>2</sup> /月 ・職住近接が可能	
	[研究機関] ・世界大学ランキング、欧州上位20大学中7大学が立地 ・政府による高度技術研究所の複数設立	[安価な住環境] ・平均家賃が11.09€/m <sup>2</sup> /月	
	[ハブ機関] ・欧州最大のロッテルダム港、欧州の航空貨物ハブ・スキポール空港に近接	[大企業の支援] ・アクセラレーターが8、イノベーションセンターが11、リサーチセンターが15以上	

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 都市毎の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン
ソフト面 A. 税制 B. 産業組織 C. 場所のイメージ D. 多様な人材	[コワーキングスペース]	・オランダの 77 ヶ所で展開、企業と個人のマッチングを実施
	[低賃料のワークスペース]	・政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供
	[研究機関]	・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計、事業計画に参画
	[研究機関]	・世界大学ランキング、欧州上位 20 大学中 7 大学が立地 ・政府による高度技術研究所の複数設立
ハード面 E. 施設	[コワーキングスペース]	・「スーツ・ツー・ミー」オランダの 77 ヶ所で展開、企業と個人のマッチングを実施
	[低賃料のワークスペース]	・「ブリーディング・スペース・ファンド」政府によるアーティストへ安価なワークスペースの提供 ・エンドユーザー自らが開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計
	[国籍]	・外国企業の数 6000 社以上 ・日本企業は約 400 社
	[国籍]	・35 歳未満の人口 48.0% ・189 カ国の外国人
	[コワーキングスペース]	・ベルリンの 40 ヶ所以上で展開
	[低賃料のワークスペース]	・平均賃料が 15.10€/ m <sup>2</sup> / 月 ・職住近接が可能
	[安価な住環境]	・平均家賃が 11.09€/ m <sup>2</sup> / 月
	[大企業の支援]	・アクセラレーターが 8、イノベーションセンターが 11、リサーチセンターが 15 以上
	[研究機関]	・大学が 45、テクノロジーパークとビジネスインキュベーターが 22、その他の研究機関が 70 以上

低賃料のオフィスや安価な住環境により創造的な人材、企業を誘致

## 共通の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン
A. 税制	<ul style="list-style-type: none"> <li>[法人所得税率] - 25.0%</li> <li>[イノベーションボックス税制] - オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率 5.0%</li> <li>[所得税減免] - 専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の 30% を 8 年間減免</li> <li>[資本参加免除] - 株式保有に基づく利益の法人税免除</li> <li>[研究開発のための資金費用税額控除] - 一企業あたり最大控除額 1400 万€</li> </ul>	
B. 産業組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>[人的ネットワーク] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるスタートアップ企業の起業、成長を促す事業</li> <li>・大学と産業界の専門領域を横断するネットワーク</li> <li>・研究面における「官・民・学」の緻密な協力関係</li> </ul> </li> <li>[知識・経験・ノウハウの蓄積] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるクリエイティブ産業の産業セクター化</li> </ul> </li> <li>[創造・流通の関係] <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界最高水準の最先端 IT インフラ、広範囲ブロードバンドネットワークによるインターネットへの高い接続性</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[人的ネットワーク] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるスタートアップ企業を推進するクラウドファンディングのポータルサイト</li> <li>・議会や政府、産業界のトップ団体の連携</li> </ul> </li> <li>[知識・経験・ノウハウの蓄積] <ul style="list-style-type: none"> <li>・2005 年、ユネスコ・クリエイティブ・シティーズ・ネットワーク、デザイン分野の登録</li> </ul> </li> <li>[創造・流通の関係] <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア部門のクリエイティブ企業数 37000 社以上</li> </ul> </li> </ul>
C. 場所のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>[都市ブランド] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アイアムアムステルダム (I amsterdam)」2004 年から、アムステルダム市の統合的なマーケティング戦略として都市ブランド発信事業を展開</li> </ul> </li> <li>[地域資産] <ul style="list-style-type: none"> <li>・寛容でオープン</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[都市ブランド] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベルリンになろう (Be Berlin)」2008 年から、ベルリン市政府に代わり、ベルリン・パートナーが都市ブランド発信事業を展開</li> <li>・オルタナティブ、反抗的な気風や起業家精神、アンダーグラウンド</li> </ul> </li> </ul>
D. 多様な人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>[クリエイティブクラス] <ul style="list-style-type: none"> <li>・46.0% (全労働人口)</li> </ul> </li> <li>[多国籍] <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国企業の数</li> <li>・日本企業は約 100 社</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[人的ネットワーク] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるスタートアップ企業へ金銭面の支援による推進</li> <li>・クリエイティブ産業の産業クラスターの形成</li> </ul> </li> </ul>
E. 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>[コワーキングスペース] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シェア・スペース」</li> <li>・企業と個人のマ</li> </ul> </li> <li>[低賃料のワークスペース] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブリーディング」</li> <li>・アーティストへ</li> </ul> </li> <li>[研究機関] <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンドユーザー自身が開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計、事業計画に参画</li> <li>・世界大学ランキング、欧州上位 20 大学中 7 大学が立地</li> <li>・政府による高度技術研究所の複数設立</li> </ul> </li> <li>[ハブ機関] <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州最大のロッテルダム港、欧州の航空貨物ハブ・スキポール空港に近接</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[大企業の支援] <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセラレーターが 8、イノベーションセンターが 11、リサーチセンターが 15 以上</li> </ul> </li> <li>[研究機関] <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学が 45、テクノロジーパークとビジネスインキュベーターが 22、その他の研究機関が 70 以上</li> </ul> </li> </ul>

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 共通の特徴

表. マクロスケールの特徴

指標	アムステルダム	ベルリン
A. 税制	<ul style="list-style-type: none"> <li>[法人所得税率] - 25.0%</li> <li>[イノベーションボックス税制] - オランダでおこなわれたイノベーションから得た所得は税率 5.0%</li> <li>[所得税減免] - 専門知識を持ちオランダ国外からの赴任者に課税所得の 30% を 8 年間減免</li> <li>[資本参加免除] - 株式保有に基づく利益の法人税免除</li> <li>[研究開発のための資金費用税額控除] - 一企業あたり最大控除額 1400 万€</li> </ul>	
B. 産業組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>[人的ネットワーク] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるスタートアップ企業の起業、成長を促す事業</li> <li>・大学と産業界の専門領域を横断するネットワーク</li> <li>・研究面における「官・民・学」の緻密な協力関係</li> </ul> </li> <li>[知識・経験・ノウハウの蓄積] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるクリエイティブ産業の産業セクター化</li> <li>・世界最高水準の最先端 IT インフラ、広範囲ブロードバンドネットワークによるインターネットへの高い接続性</li> </ul> </li> <li>[創造・流通の関係]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[人的ネットワーク] <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府によるスタートアップ企業を推進するクラウドファンディングのポータルサイト</li> <li>・議会や政府、産業界のトップ団体の連携</li> </ul> </li> <li>[知識・経験・ノウハウの蓄積] <ul style="list-style-type: none"> <li>・2005 年、ユネスコ・クリエイティブ・シティーズ・ネットワーク、デザイン分野の登録</li> </ul> </li> <li>[創造・流通の関係] <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア部門のクリエイティブ企業数 37000 社以上</li> </ul> </li> </ul>
C. 場所のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>[都市ブランド] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アムステルダム (Amsterdam)」2004 年から、アムステルダム市の統合的なマーケティング戦略として都市ブランド発信事業を展開</li> </ul> </li> <li>[地域資産] <ul style="list-style-type: none"> <li>・寛容でオープン</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[都市ブランド] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベルリンになろう (Be Berlin)」2008 年から、ベルリン市政府に代わり、ベルリン・パートナーが都市ブランド発信事業を展開</li> <li>・オルタナティブ、反抗的な気風や起業家精神、アンダーグラウンド</li> </ul> </li> </ul>
D. 多様な人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>[クリエイティブクラス] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 46.0% (全労働人口)</li> <li>・ 外国企業の従業員</li> <li>・ 日本企業は約 10%</li> </ul> </li> <li>[多国籍]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全労働人口を 100%)</li> <li>の人口 48.0%</li> <li>の外国人</li> </ul>
E. 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>[コワーキングスペース] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シェア・スペース」</li> <li>・企業と個人のマ</li> </ul> </li> <li>[低賃料のワークスペース] <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブリーディング</li> <li>・アーティスト</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>の 40ヶ所以上で展開</li> <li>が 15.10€/ m<sup>2</sup>/月</li> <li>が可能</li> <li>が 11.09€/ m<sup>2</sup>/月</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンドユーザー自身が開発プロジェクトにおいて、建物、地域の設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[大企業の支援] <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセラレーターが 8、イノベーションセンターが 11、</li> </ul> </li> </ul>

【共通】

【人的ネットワーク】

- ・政府によるスタートアップ企業へ金銭面の支援による推進
- ・クリエイティブ産業の産業クラスターの形成

## 施設や制度によりスタートアップ企業を推進

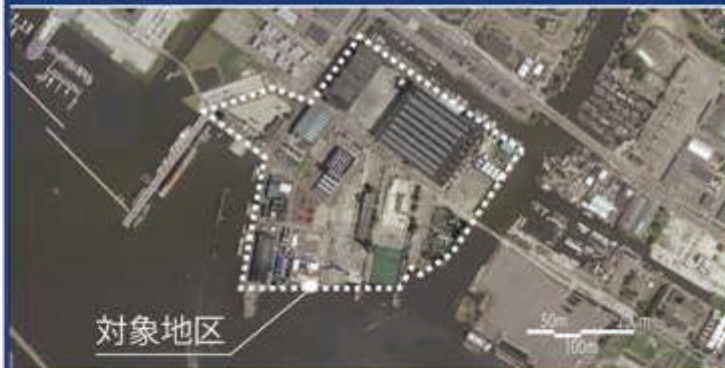
## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## 対象地区

## アムステルダム

## T1 NDSM-Werf



## T2 ウェスターガスファブリーク



## ベルリン

## T3 フリードリヒスハイン・レヴァレー通り



## T4 ハッケシャーホーフ



引用元：Google Map

アムステルダム・ベルリンにおいて用途が転換した4地区を対象

## 指標の設定

表. メソスケールの指標

	指標	概要
ソフト面	F 用途の複合化	・ 街区や建築において、複数の小規模な用途が混在し、文化的な賑わい創出や相互作用を促す
	G 外部空間活用	・ 建物の用途が内部空間から歩道や広場に波及 オープンテラス、ストリートミュージシャン、露天商、大道芸人、通行人による賑わい創出
ハード面	H 街区の従前用途	・ 都市近郊の街区における街区元港湾や元工業地区といった従前の用途 ・ 個人や企業が低賃料で活用できる建物を内包した街区
	I オフィス空間	・ タイプ1：郊外や広大な敷地のハイテク・パークに立地、広い空間を必要とする大企業向けの規模、新築の建物 ・ タイプ2：都心部や都市近郊に立地、広い空間を必要としない小規模企業向けの規模、古い建物を改装し活用
	J 外観	・ 大胆で奇抜な外観デザイン

メソスケールの特徴を把握するために5項目を設定

## 共通の特徴

表. メソスケールの特徴

指標	T1 NDSM-Werf	T2 ウェスターガスファブリーク	T3 フリードリヒスハイン・レヴァレー通り	T4 ハッケシャーホーフ
ソフト面	F 用途の複合化 [用途] アーティストのアトリエと大企業のオフィス、劇場、スケートパークなどが混在した空間	[用途] カフェ、ギャラリー、映画館、ホテル、クリエイティブ企業のオフィスなどが混在した空間	[用途] 放棄された倉庫、発電所、陸橋を活用した、ポップアップ形式のギャラリー、期間限定レストラン、テクノクラブ、屋外シアターなどが混在した空間	[用途] 低賃料の集合住宅、アーティスト・イン・レジデンス、若いデザイナーのアトリエ、ギャラリー、映画館、劇場、オフィスなどが混在した空間
	G 外部空間活用 [外部空間] ・街区内の広場 ・腰壁で囲まれた空間 ・入れ子構造の建物内、半屋内空間	[外部空間] ・街区内の歩道 ・アルコーブ ・腰壁で囲まれた空間	[外部空間] ・路地により接続された街区内の広場 ・腰壁、外壁で囲まれた空間	[外部空間] ・街区内部の歩道 ・建物で囲まれた中庭
ハード面	H 街区の従前用途 [従前用途] ・造船所 ・1984年にオランダ造船会社の倒産により造船所が閉鎖。行政が安い賃料で市民に開放し制作拠点を求めていた若いアーティストが相互協力により活用	[従前用途] ・ガス発電所 ・1883年にガス発電所により土地が汚染された。1990年代後半に、国際デザインコンペにより「都市と自然の間の段階的移行」がコンセプトとして、公園の活用、運営	[従前用途] ・貨物操車場 ・さびついた工場設備、カラフルなグラフィティ、実験音楽、愛や平和を訴えるヒッピー文化を守る、オルタナティブ志向と独立性が地区の資産	[従前用途] ・縫製工場 ・1900年代前半に、繊維産業、服飾系の工場や住宅として使われていた。ドイツ再統一後に修復され、1995年からショップが入居
	I オフィス空間 [立地] ・都市近郊 [規模] ・大企業、小規模企業 [形式] ・新築、リノベーション	[立地] ・都市近郊 [規模] ・小規模企業 [形式] ・リノベーション	[立地] ・都市近郊 [規模] ・小規模企業 [形式] ・リノベーション	[立地] ・都心部 [規模] ・小規模企業 [形式] ・リノベーション
	J 外観 [外見デザイン] ・ペイント、ポスター	[外見デザイン] ・	[外見デザイン] ・ペイント、ポスター、植栽	[外見デザイン] ・ペイント、ポスター、植栽



## 共通の特徴

表. メソスケールの特徴

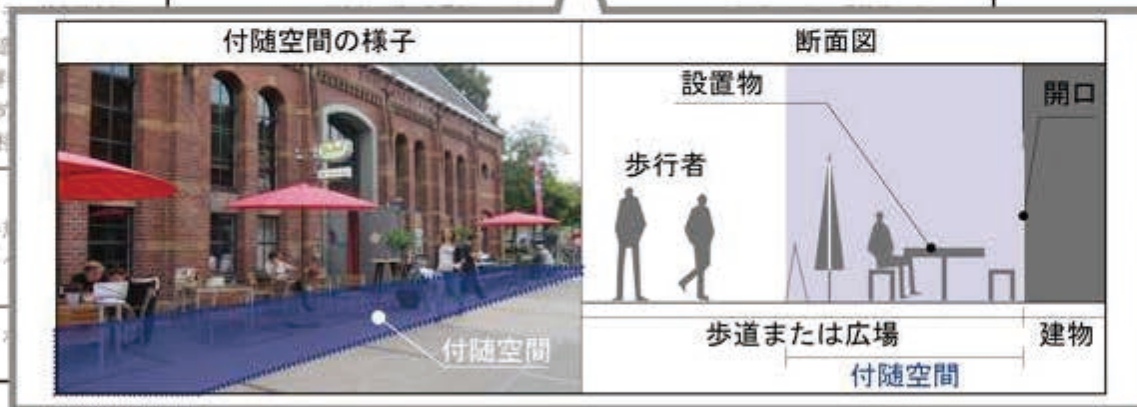
指標	T1 NDSM-Werf	T2 ウェスターガスファブリーク	T3 フリードリヒスハイン・レヴァレー通り	T4 ハッケシャーホーフ
ソフト面	F 用途の複合化 [用途] アーティストのアトリエと大企業のオフィス、劇場、スケートパークなどが混在した空間	[用途] カフェ、ギャラリー、映画館、ホテル、クリエイティブ企業のオフィスなどが混在した空間	[用途] 放棄された倉庫、発電所、陸橋を活用した、ポップアップ形式のギャラリー、期間限定レストラン、テイクアウト、屋外シア	[用途] 低賃料の集合住宅、アーティスト・イン・レジデンス、若いデザイナーのアトリエ、ギャラリー、映画館、劇場、オフィスなどが混在した空間
	G 外部空間活用 [外部空間] ・街区内の広場 ・隣壁で囲まれた空間 ・入れ子構造の建物内、半屋内空間	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>[立地] ・都市近郊</p> <p>[規模] ・小規模企業</p> <p>[形式] ・リノベーション</p> </div>		[外部空間] ・街区内部の歩道 ・建物で囲まれた中庭
H 街区の従前用途 [従前用途] ・造船所 ・1984年にオランダ造船会社の倒産により造船所が閉鎖。行政が安い賃料で市民に開放し制作拠点を求めていた若いアーティストが相互協力により活用	[従前用途] ・縫製工場 ・1900年代前半に、繊維産業、服飾系の工場や住宅として使われていた。ドイツ再統一後に修復され、1995年からショップが入居			
ハード面	I オフィス空間 [立地] ・都市近郊 [規模] ・大企業、小規模企業 [形式] ・新築、リノベーション	[立地] ・都市近郊 [規模] ・小規模企業 [形式] ・リノベーション	[立地] ・都市近郊 [規模] ・小規模企業 [形式] ・リノベーション	[立地] ・都心部 [規模] ・小規模企業 [形式] ・リノベーション
	J 外観 [外見デザイン] ・ペイント、ポスター	[外見デザイン] ・	[外見デザイン] ・ペイント、ポスター、植栽	[外見デザイン] ・ペイント、ポスター、植栽

小規模企業が、賃料の安い都市近郊に、古い建物を改修して活用

## 共通の特徴

表. メソスケールの特徴

指標	T1 NDSM-Werf	T2 ウェスターガスファブリーク	T3 フリードリヒスハイン・レヴァレー通り	T4 ハッケシャーホーフ
ソフト面 F 用途の複合化	[用途] アーティストのアトリエと大企業のオフィス、劇場、スケートパークなどが混在した空間	[用途] カフェ、ギャラリー、映画館、ホテル、クリエイティブ企業のオフィスなどが混在した空間	[用途] 放棄された倉庫、発電所、陸橋を活用した、ポップアップ形式のギャラリー、期間限定レストラン、テクノクラブ、屋外シアターなどが混在した空間	[用途] 低賃料の集合住宅、アーティスト・イン・レジデンス、若いデザイナーのアトリエ、ギャラリー、映画館、劇場、オフィスなどが混在した空間
G 外部空間活用	[外部空間] ・街区内の広場 ・腰壁で囲まれた空間 ・入れ子構造の建物内、半屋内空間	[外部空間] ・街区内の歩道 ・アルコーブ ・腰壁で囲まれた空間	[外部空間] ・路地により接続された街区内の広場 ・腰壁、外壁で囲まれた空間	[外部空間] ・街区内部の歩道 ・建物で囲まれた中庭
H 街区の従前用途	[従前用途] ・造船所 ・1984年にオランダの倒産により運営が安い賃料で作業点を求めたアーティストが移住	[従前用途] ・ガス発電所	[従前用途] ・貨物停車場	[従前用途] ・縫製工場
ハード面 I オフィス空間	[立地] ・都市近郊 [規模] ・大企業、小規模企業 [形式] ・新築、リノベーション			90年代前半に、繊維産業、服飾系の工場や住宅として使われていた。ドイツ再統一後に修復され、1995年からショップが入居
J 外観	[外見デザイン] ・ペイント、ポスター、植栽			中心部 小規模企業 リノベーション ペイント、ポスター、植栽



用途の複合化に加え、街区内の外部空間を活用する「付随空間」

## 対象建築

## アムステルダム

## T1 NDSM-Werf

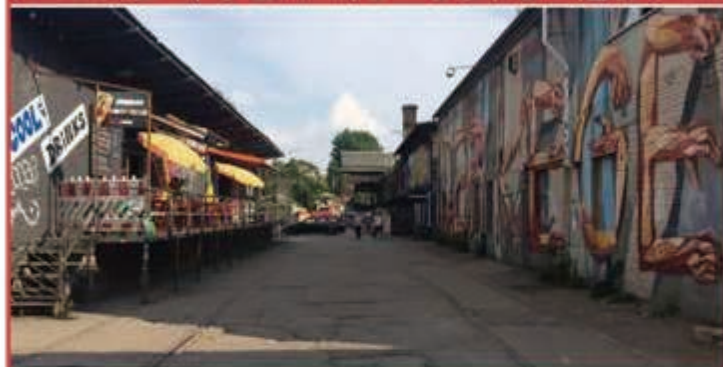


## T2 ウェスターガスファブリーク



## ベルリン

## T3 フリードリヒスハイน์・レヴァレー通り



## T4 ハッケシャーホーフ



対象地区において付随空間を持つ建築を対象

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」

T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T1-C：  
「入れ子型」

付随空間を持つ 3 タイプの空間特性を把握

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」

T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T1-C：  
「入れ子型」



「広場」を「付随空間」として活用

## T1 の空間特性

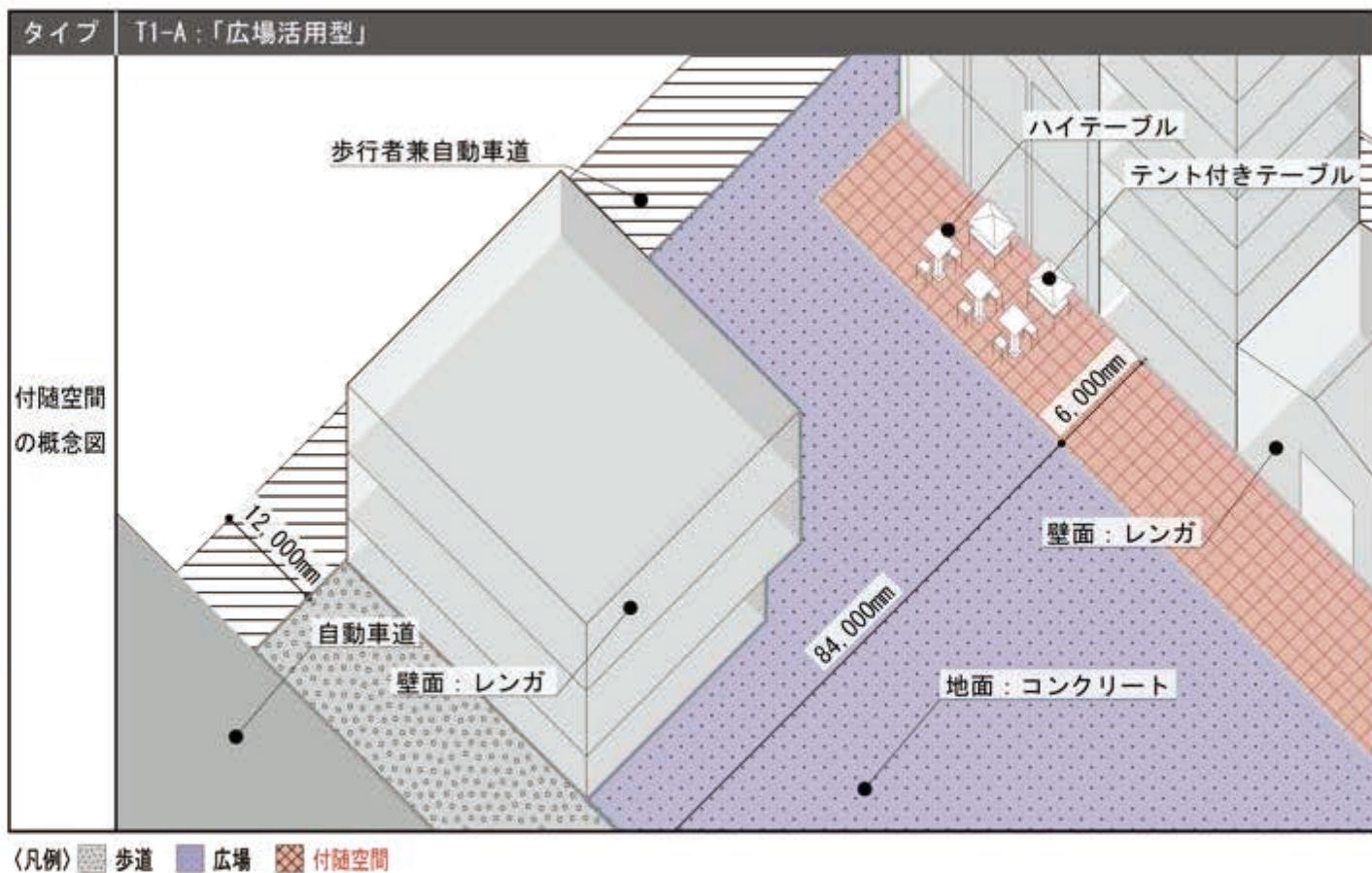
T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

タイプ | T1-A：「広場活用型」



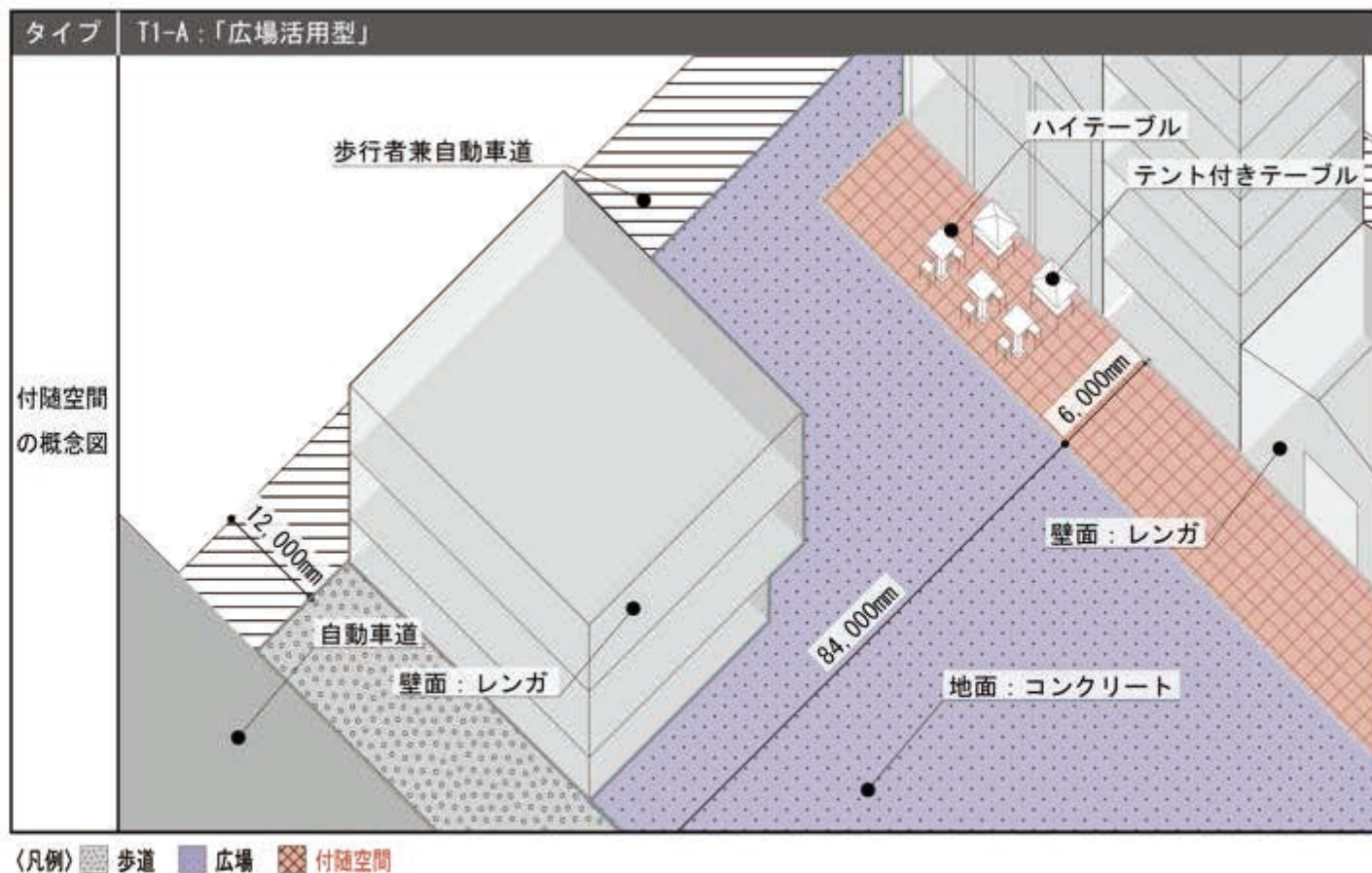
[ 広場 ] を [ 付随空間 ] として活用

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

〔広場〕は〔歩行者兼自動車道〕に隣接している

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

広場に用途の溢れ出しがあり、隣接する街区と一体的な空間



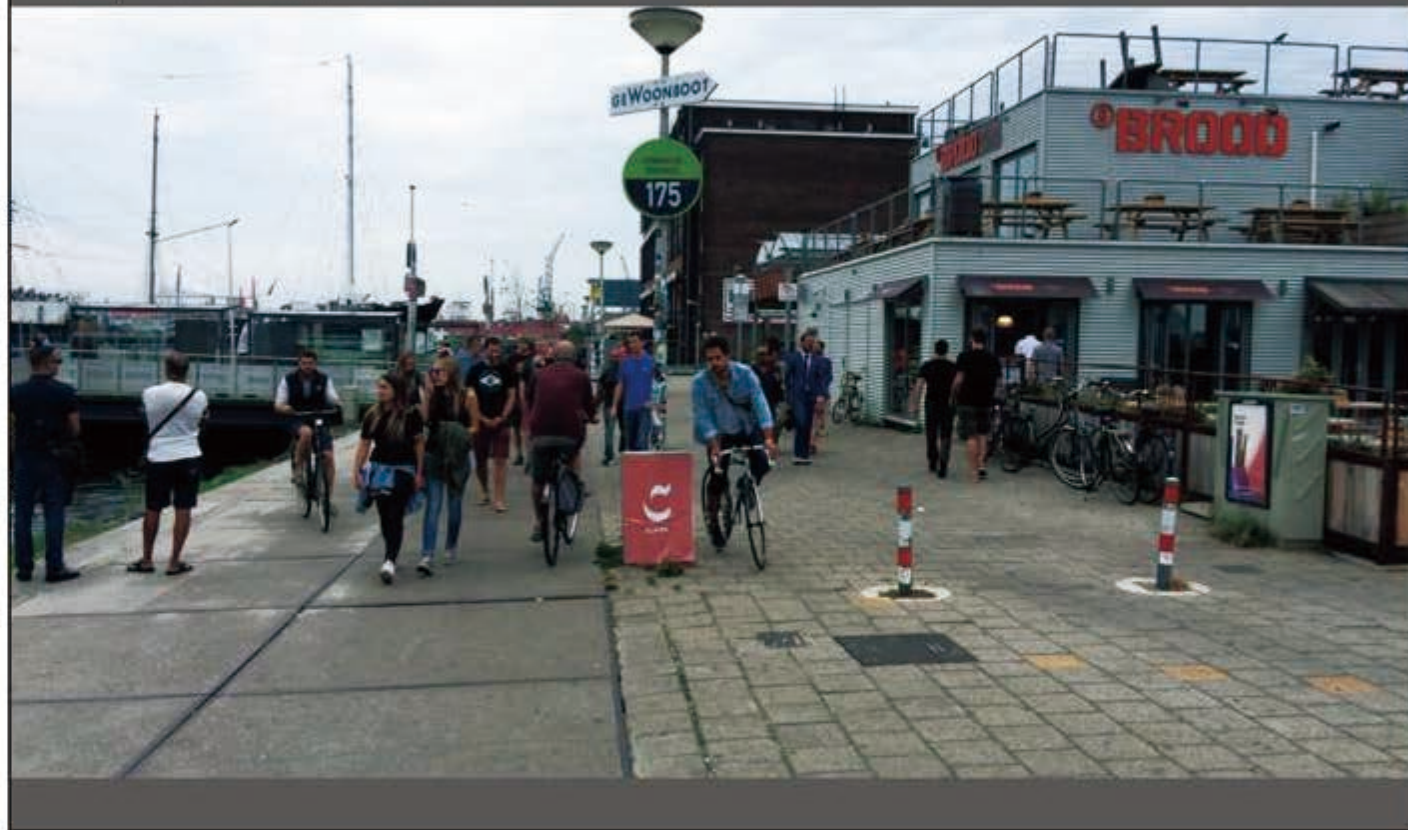
## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」

T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T1-C：  
「入れ子型」

タイプ | T1-B：「腰壁囲み + 歩道隣接型」



腰壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」

T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

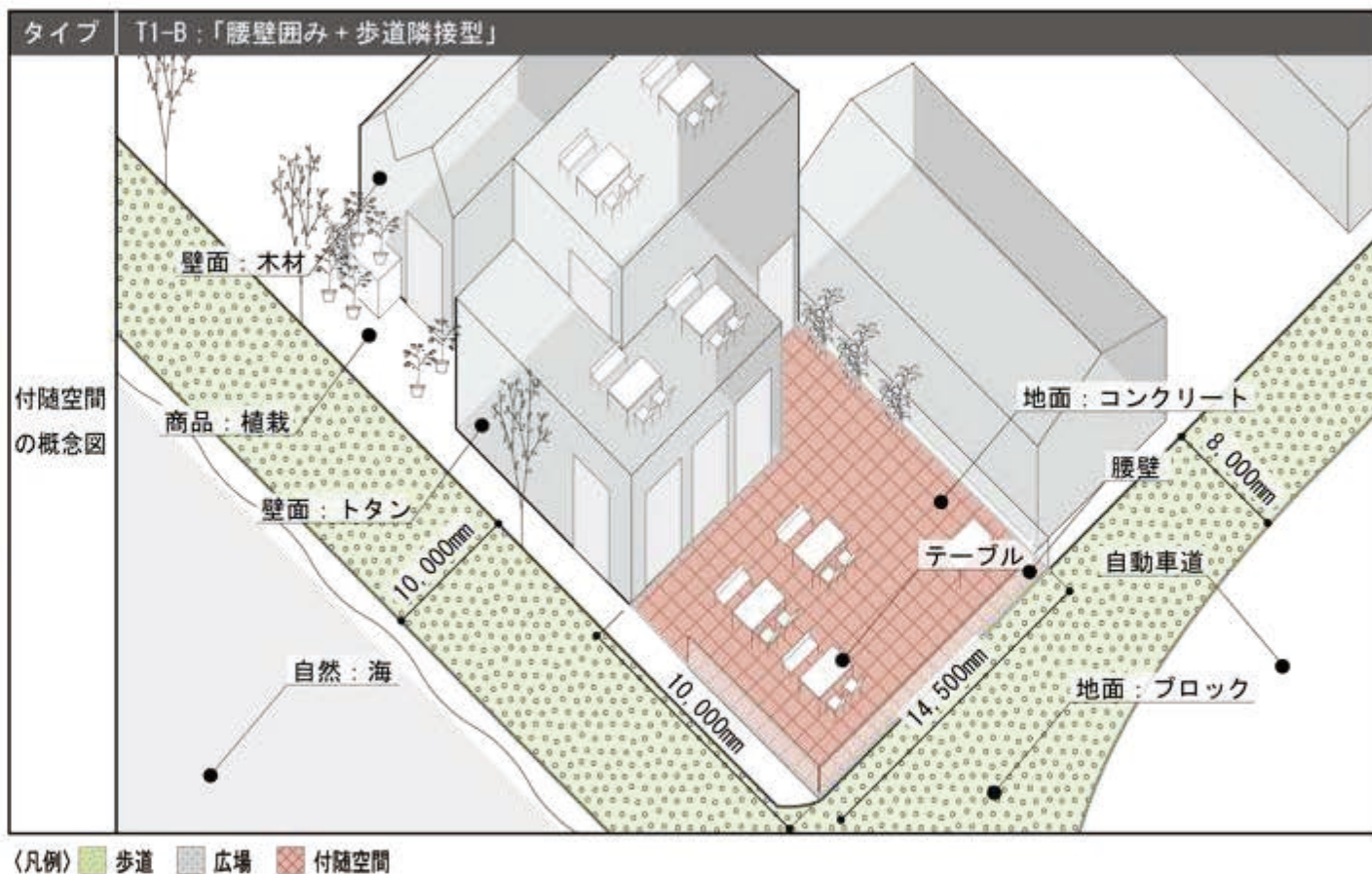
T1-C：  
「入れ子型」

タイプ | T1-B：「腰壁囲み + 歩道隣接型」



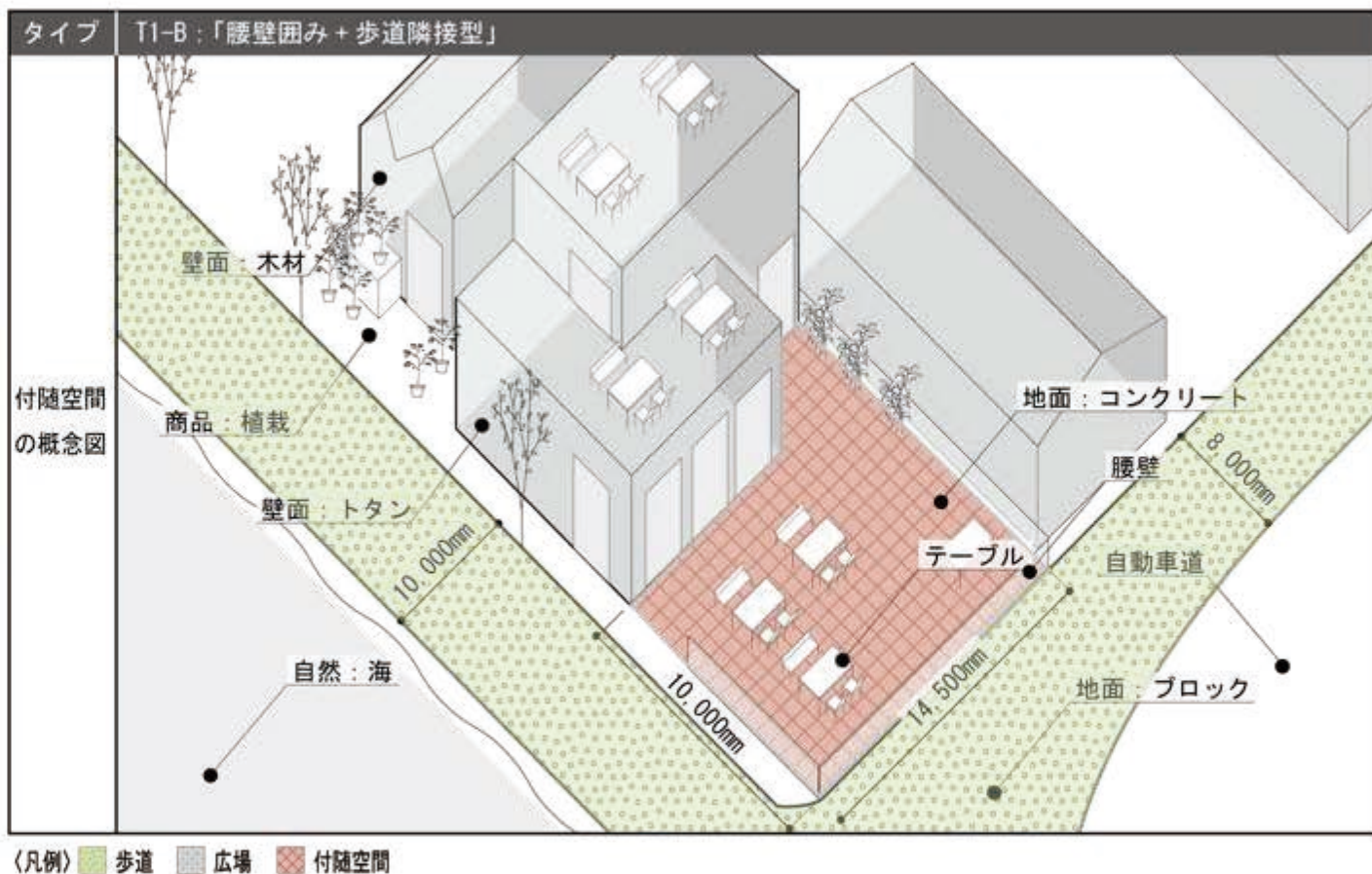
腰壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

**[付随空間]** は **[歩道]** に隣接、**[歩道]** は海に面している

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

海に面した、景色の良い空間

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」

T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T1-C：  
「入れ子型」

タイプ | T1-C: 「入れ子型」



入れ子状に配置された建物以外の空間を [付随空間] として活用

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」

T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

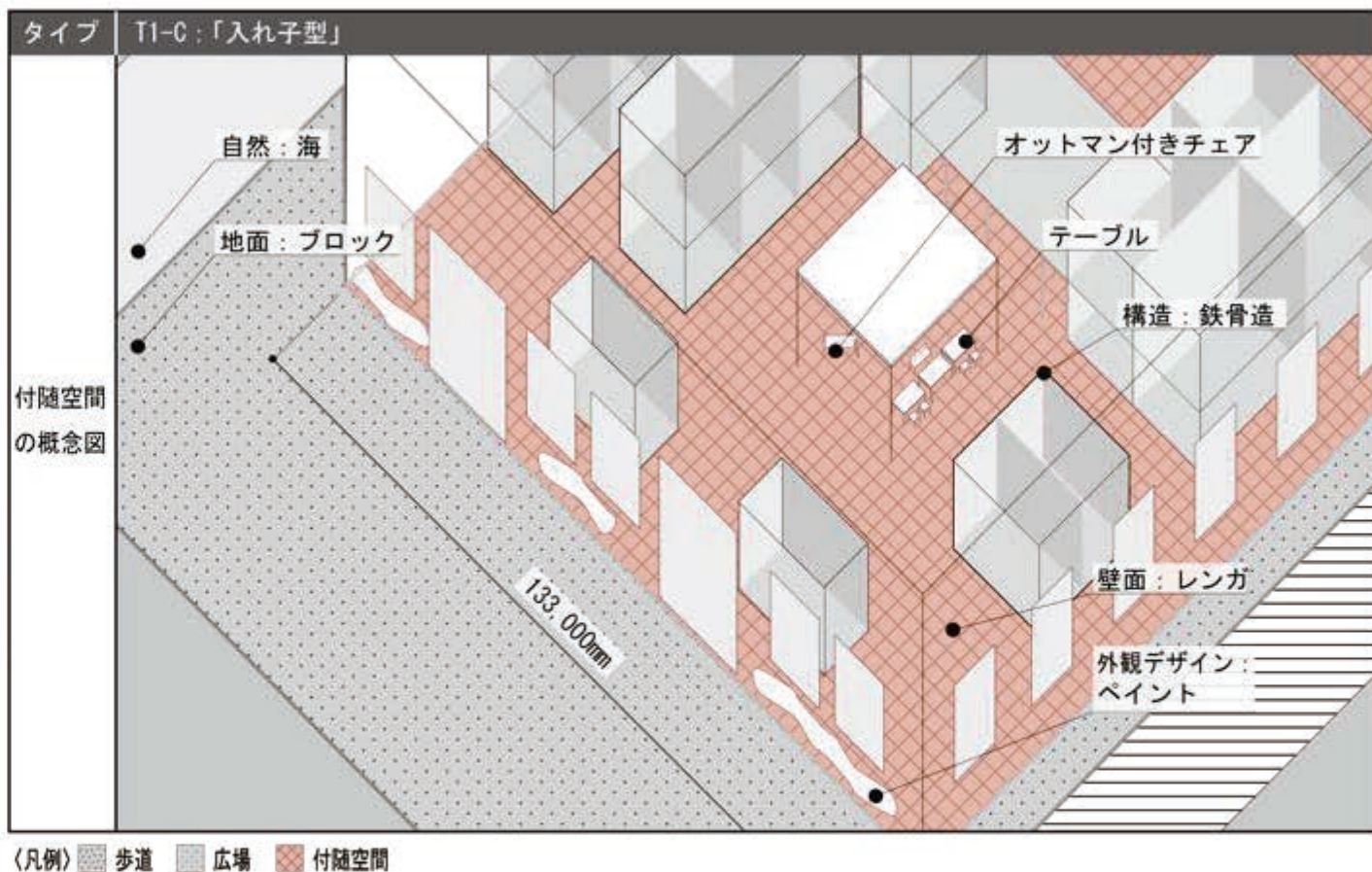
T1-C：  
「入れ子型」

タイプ | T1-C：「入れ子型」

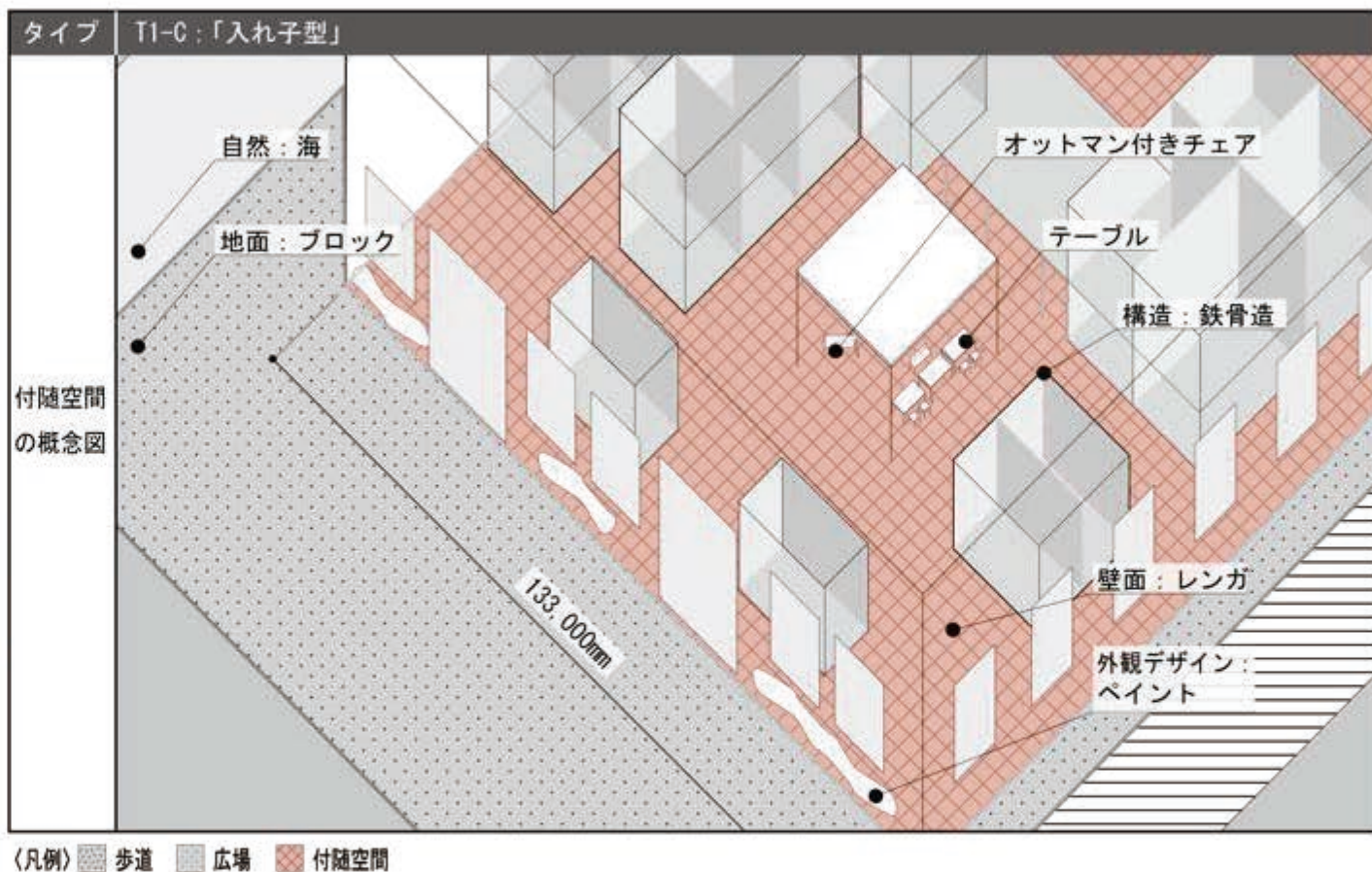


入れ子状に配置された建物以外の空間を [付随空間] として活用

## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」20-60 m<sup>2</sup>の区画毎にアトリエやスタジオを設置

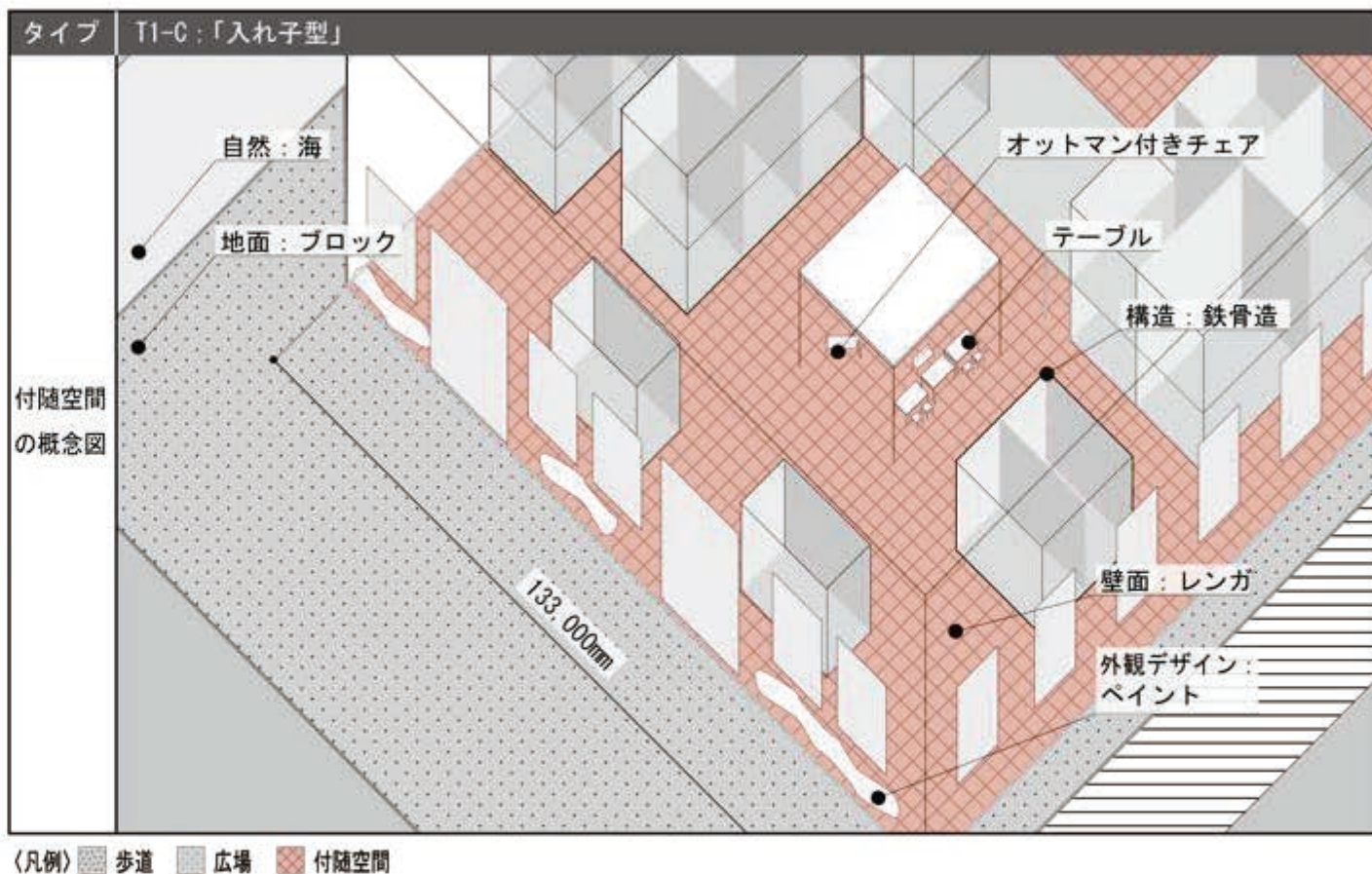
## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

入居者の相互作用を促す空間



## T1 の空間特性

T1-A：  
「広場活用型」T1-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」T1-C：  
「入れ子型」

【T1 の特徴】 アーティストによる自律的なコミュニティの形成

## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」

付随空間を持つ 3 タイプの空間特性を把握

## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」

タイプ | T2-A：「アルコーブ + 歩道隣接型」



アルコーブ空間を [ 付随空間 ] として活用

## T2 の空間特性

T2-A :  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B :  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C :  
「歩道活用型」

タイプ | T2-A : 「アルコーブ + 歩道隣接型」



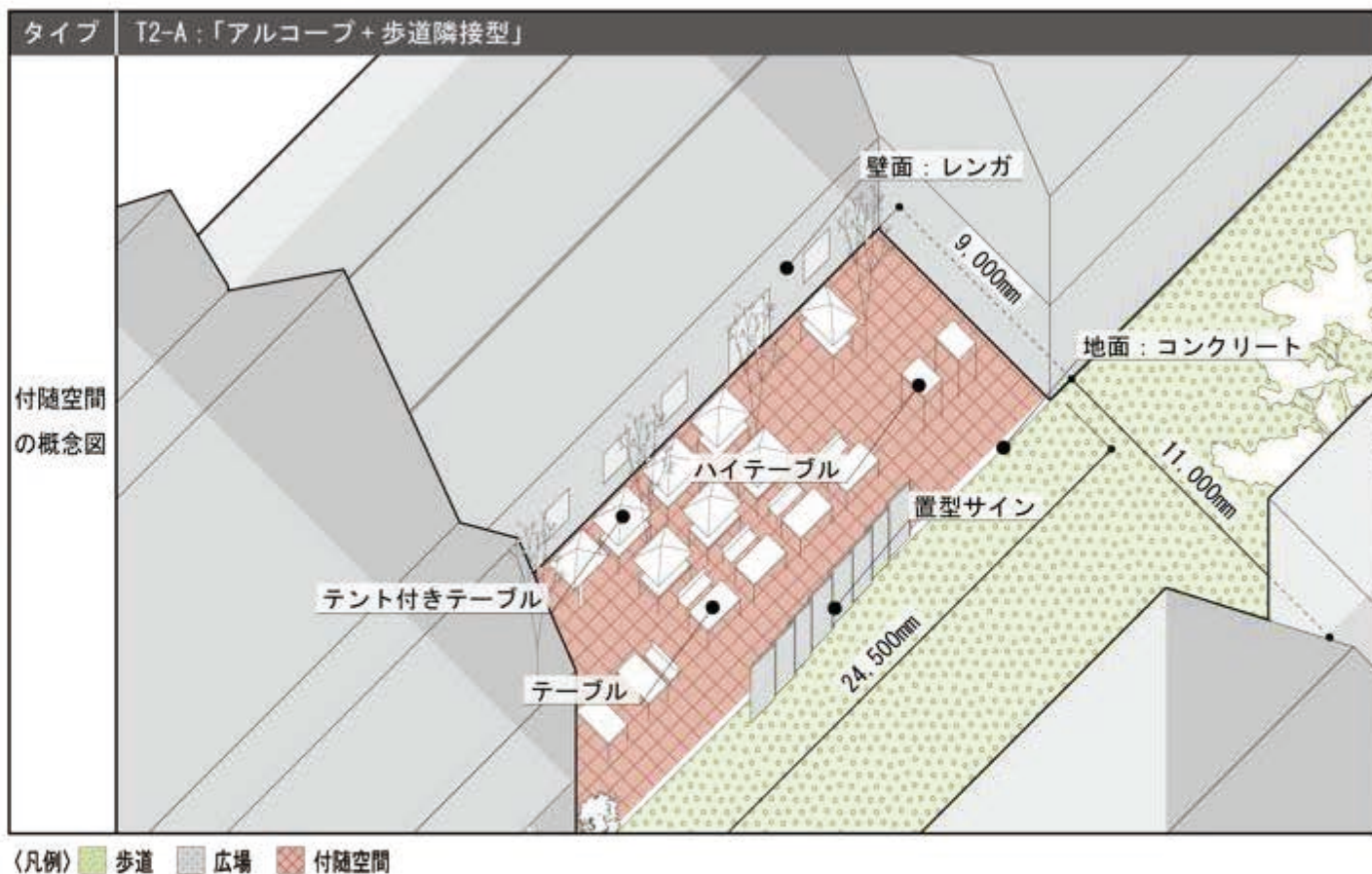
アルコーブ空間を [ 付随空間 ] として活用

## T2の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ+歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み+広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」



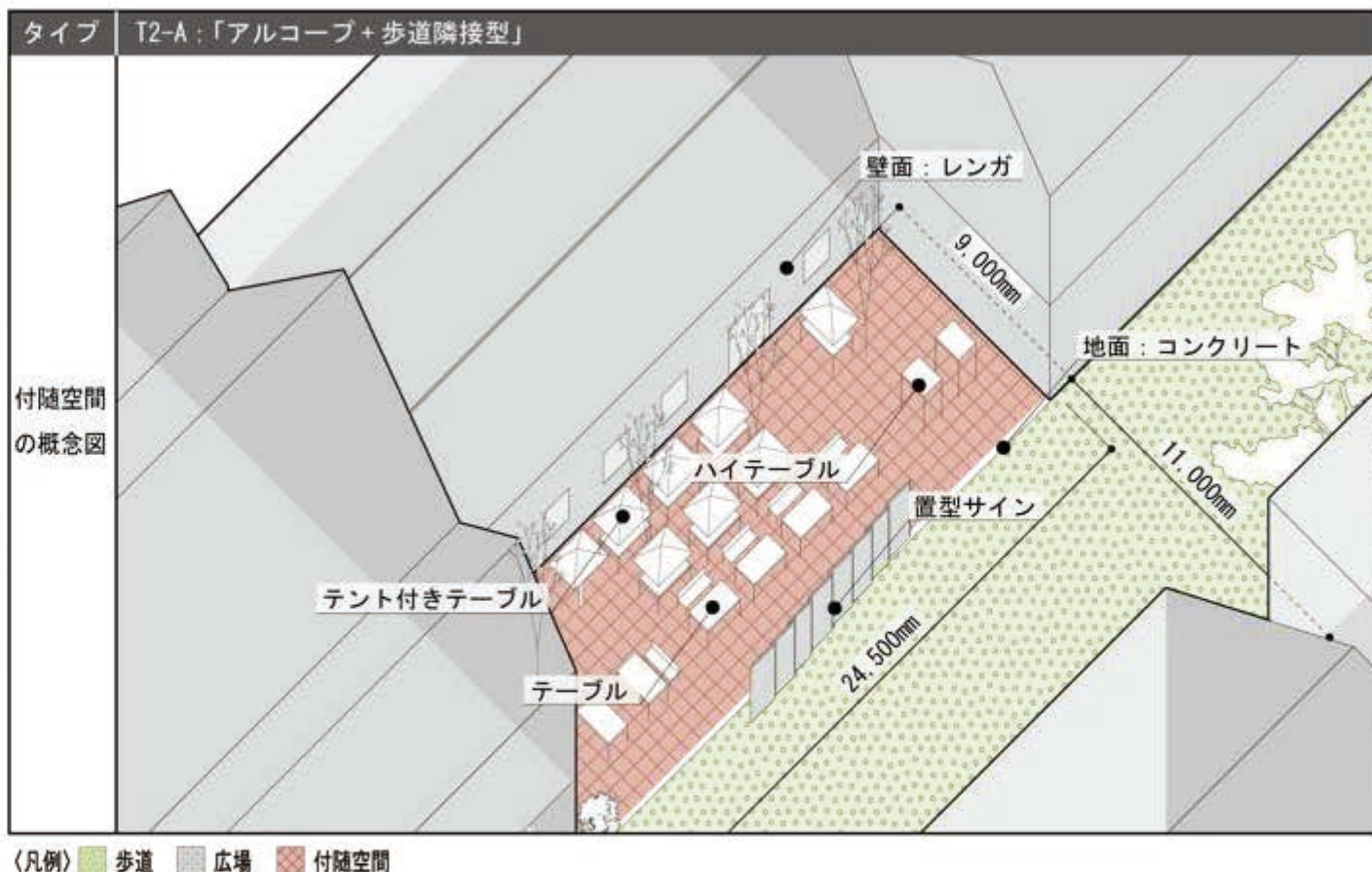
**[付随空間]** は公園内の **[歩道]** と隣接

## T2の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ+歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み+広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」



人々の通行を感じる空間

## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」

タイプ | T2-B：「腰壁囲み + 広場隣接型」



腰壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用

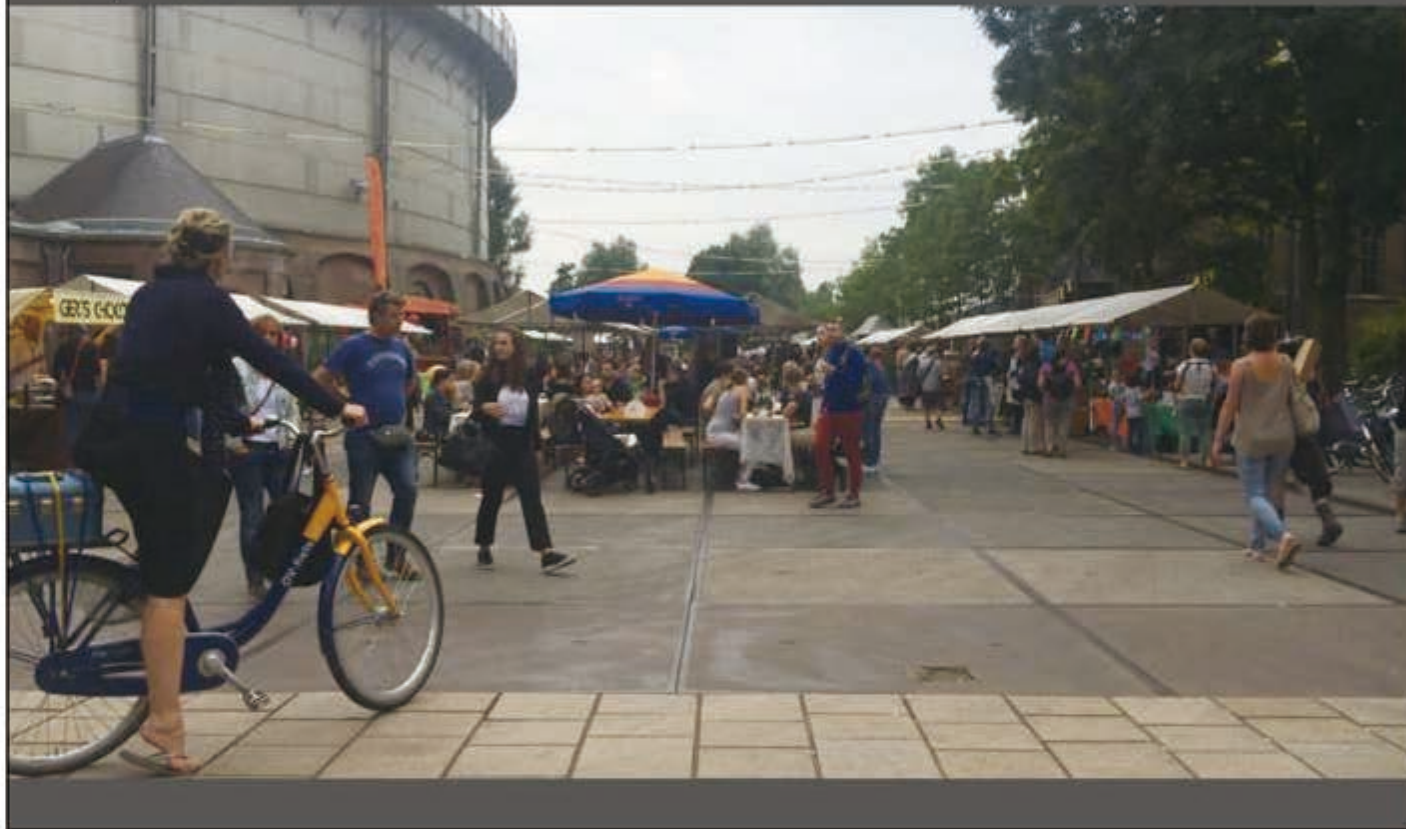
## T2 の空間特性

T2-A :  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B :  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C :  
「歩道活用型」

タイプ | T2-B : 「腰壁囲み + 広場隣接型」



腰壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用



## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」



**[付随空間]** は **[広場]** に隣接、緑地と川に面している

## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」



緑地と川に面した、景色の良い空間

## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」

タイプ | T2-C：「歩道活用型」



公園内の [ 歩道 ] を [ 付随空間 ] として活用

## T2 の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」

タイプ | T2-C：「歩道活用型」



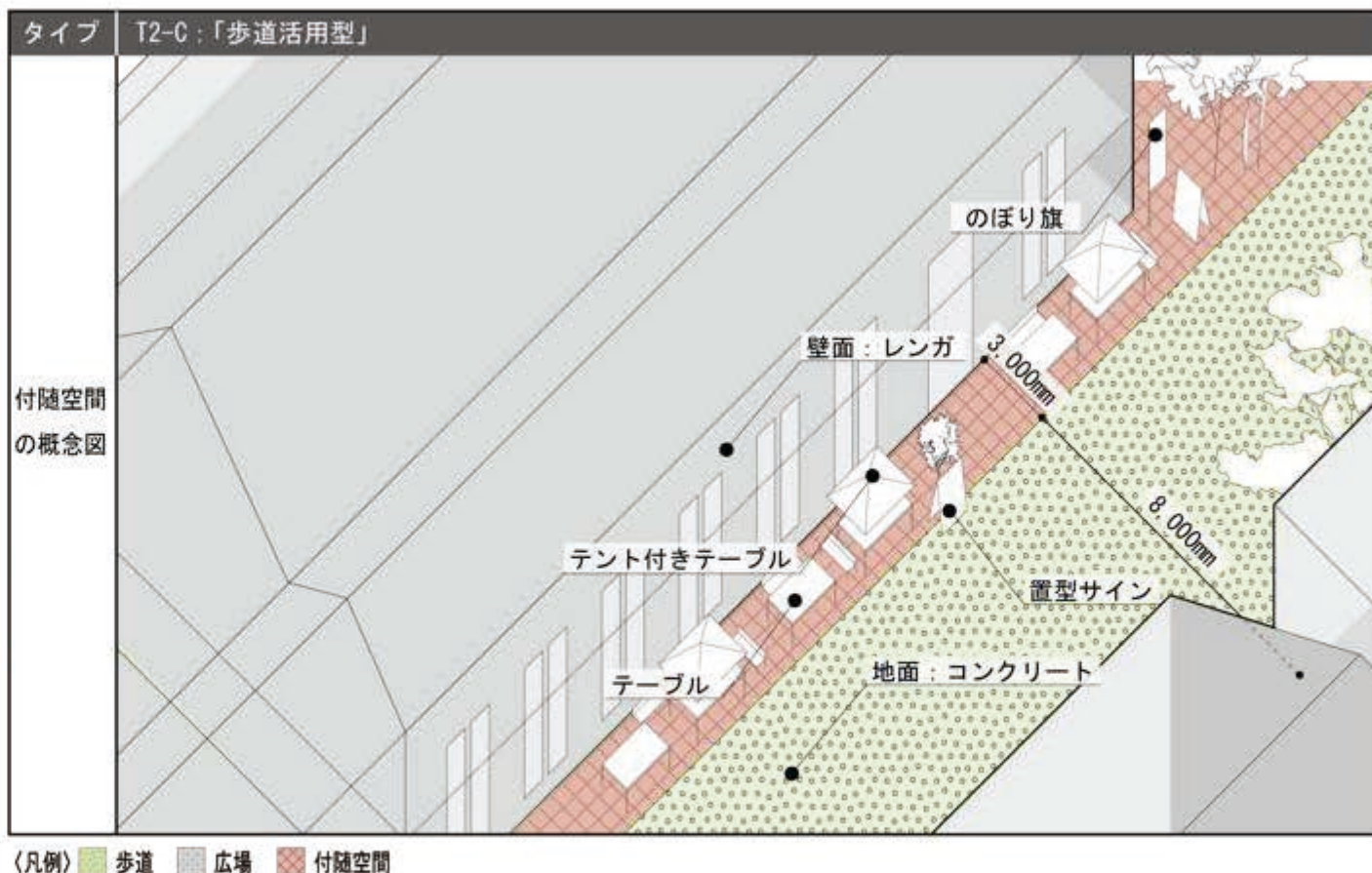
公園内の [ 歩道 ] を [ 付随空間 ] として活用

## T2の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」



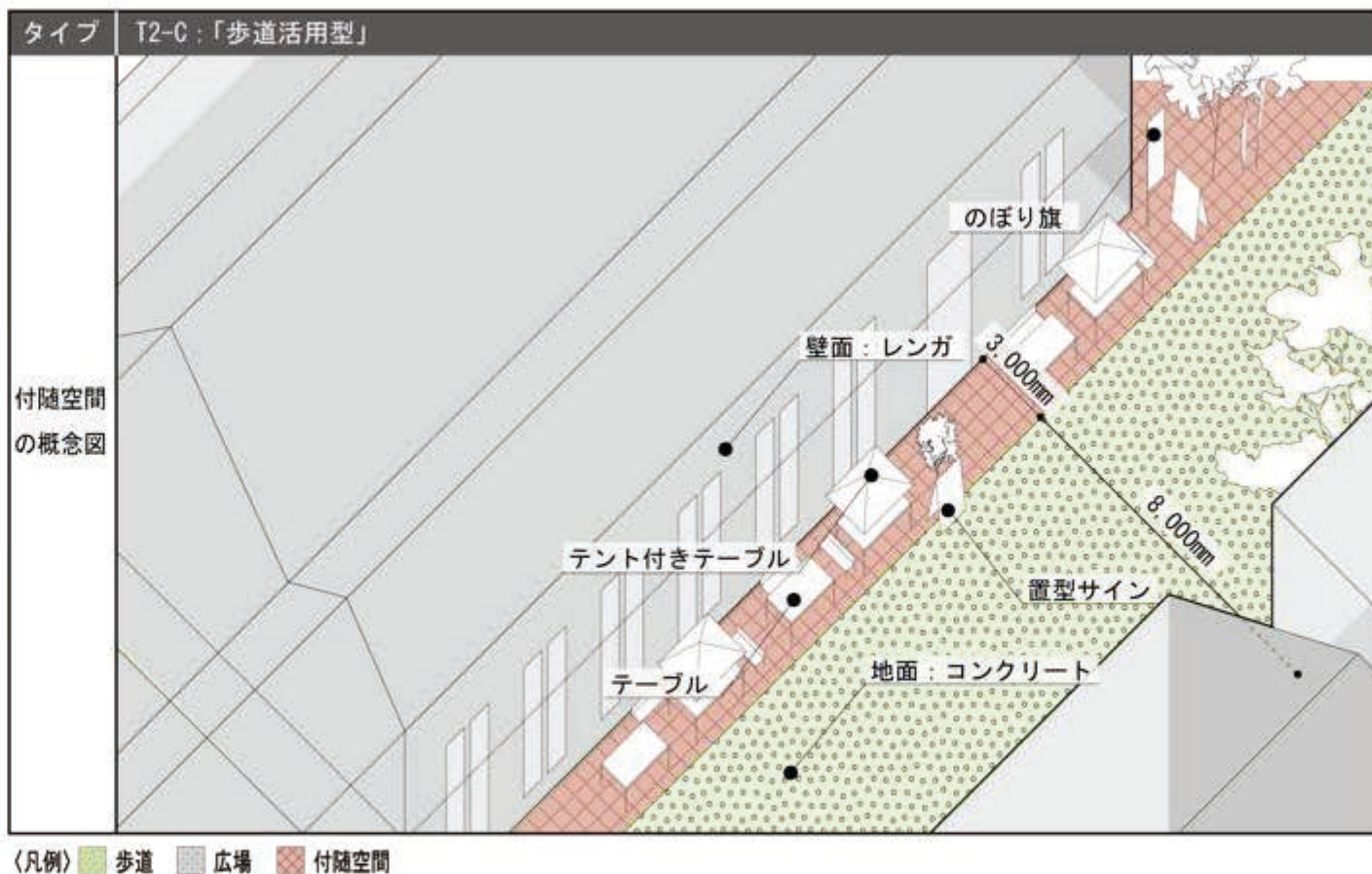
歩道に用途の溢れ出しがある空間

## T2の空間特性

T2-A：  
「アルコーブ + 歩道隣接型」

T2-B：  
「腰壁囲み + 広場隣接型」

T2-C：  
「歩道活用型」



【T2の特徴】 公園内の自然環境との共生

## T3 の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」

付随空間を持つ 3 タイプの空間特性を把握

## T3 の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」

タイプ | T3-A：「外壁囲み + 歩道隣接型」



外壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用



## T3 の空間特性

T3-A :  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B :  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C :  
「路地型」

タイプ | T3-A : 「外壁囲み + 歩道隣接型」



外壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用

## T3 の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」



**〔付随空間〕** は街区内の **〔歩道〕** に隣接

## T3 の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」



外壁により歩道から隔離された空間

## T3 の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」

タイプ | T3-B：「腰壁囲み + 歩道隣接型」



腰壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用

## T3 の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」

タイプ | T3-B：「腰壁囲み + 歩道隣接型」



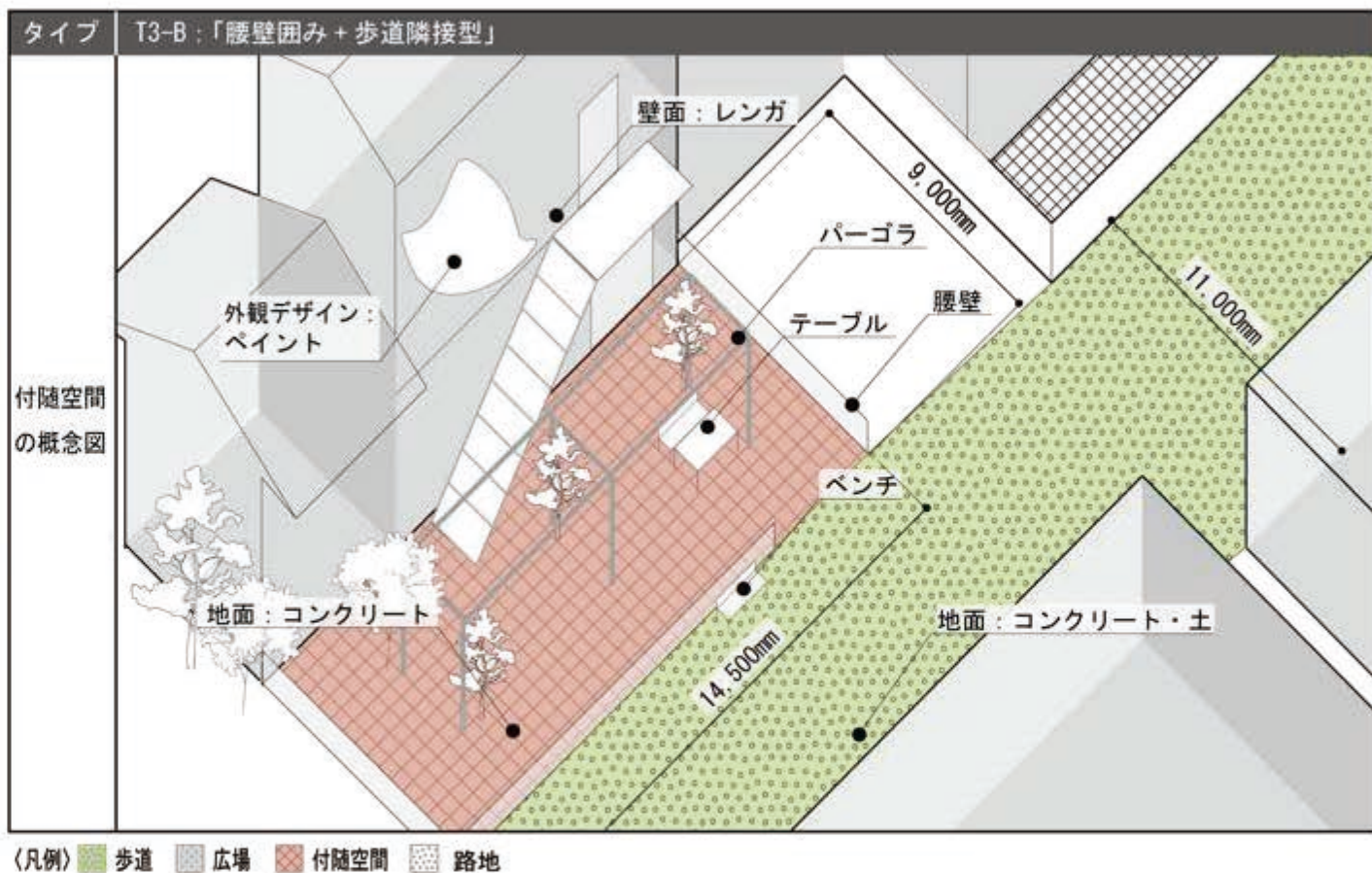
腰壁で囲まれた空間を [付随空間] として活用

## T3 の空間特性

T3-A :  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B :  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C :  
「路地型」



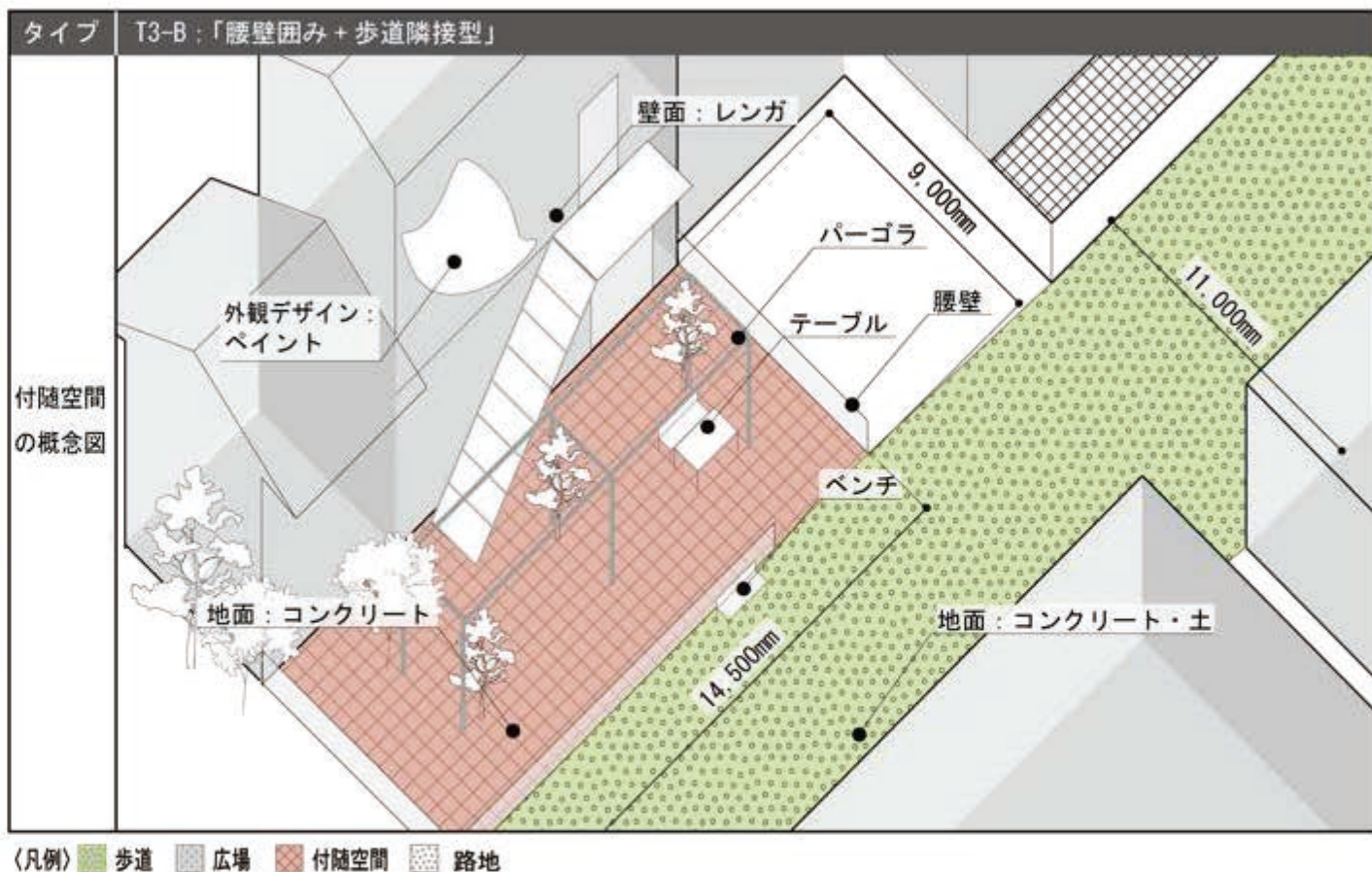
**〔付随空間〕** は街区内の **〔歩道〕** に隣接

## T3 の空間特性

T3-A :  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B :  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C :  
「路地型」



人々の通行を感じる空間

## T3 の空間特性

T3-A :  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B :  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C :  
「路地型」

タイプ | T3-C : 「路地（路地 + 広場活用 + 歩道隣接）型」



「広場」を「付随空間」として活用



## T3 の空間特性

T3-A :  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B :  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C :  
「路地型」

タイプ | T3-C : 「路地（路地 + 広場活用 + 歩道隣接）型」



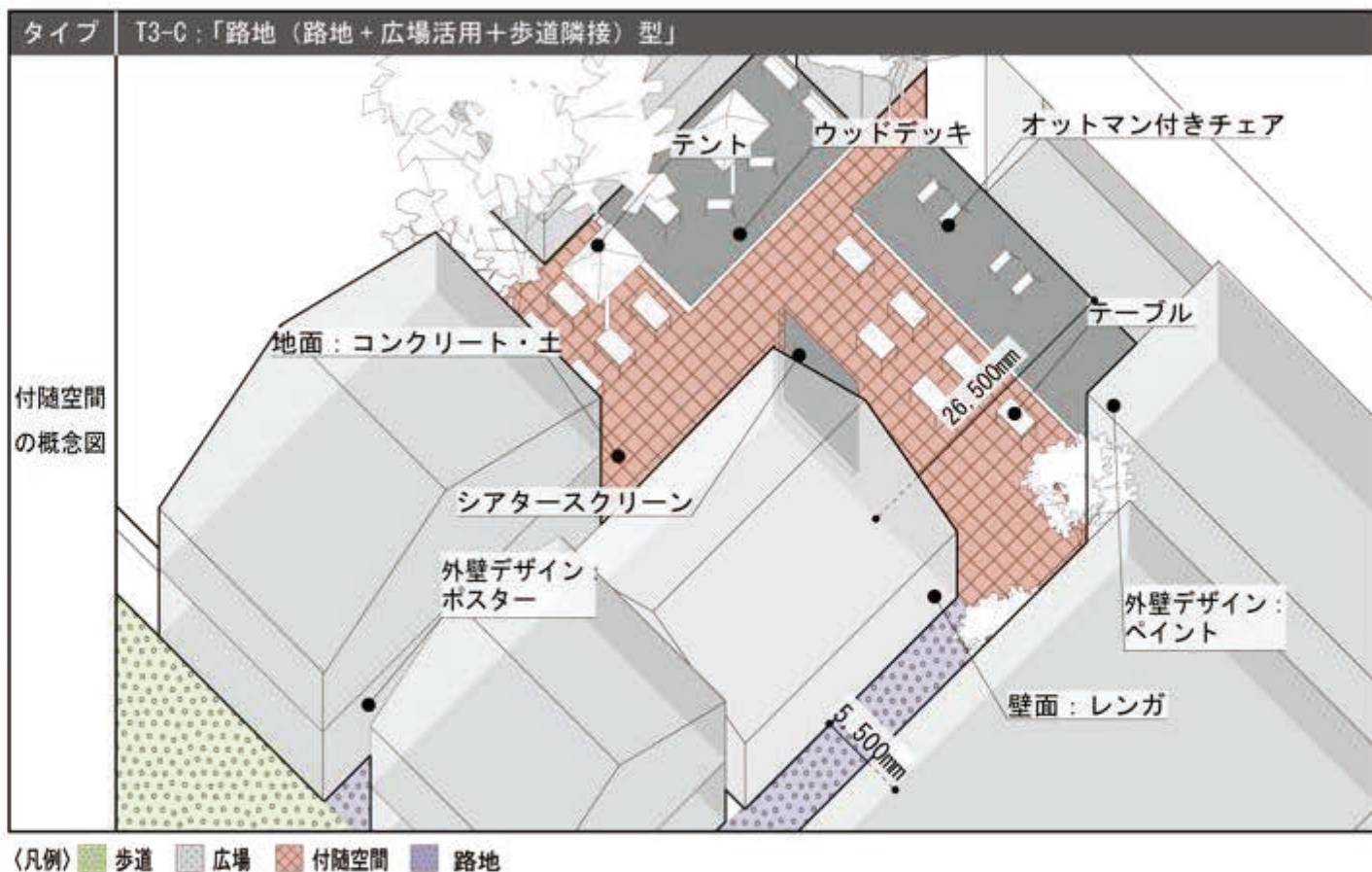
「広場」を「付随空間」として活用

## T3の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」



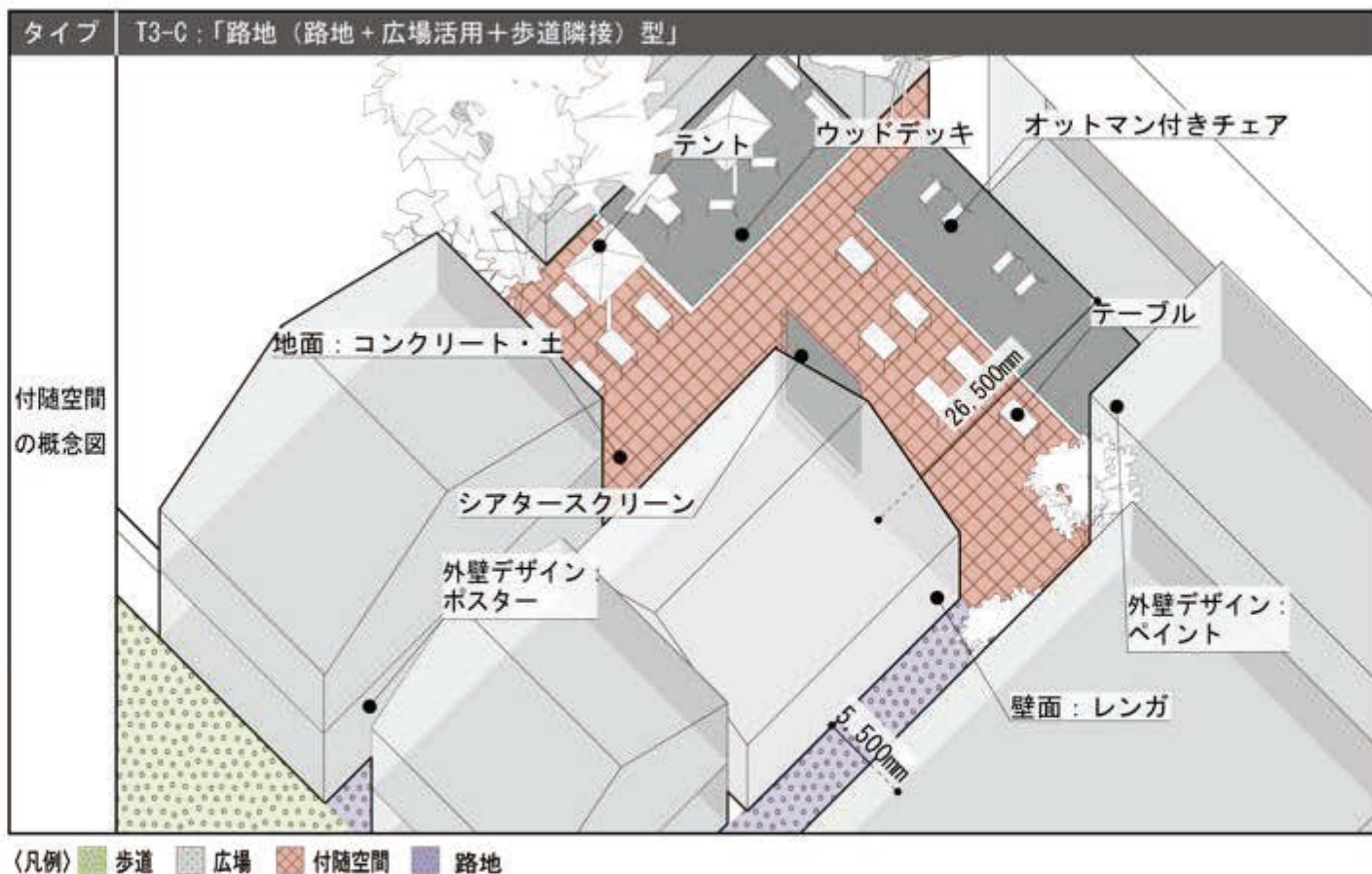
〔広場〕と〔歩道〕を〔路地〕が接続

## T3の空間特性

T3-A：  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B：  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C：  
「路地型」



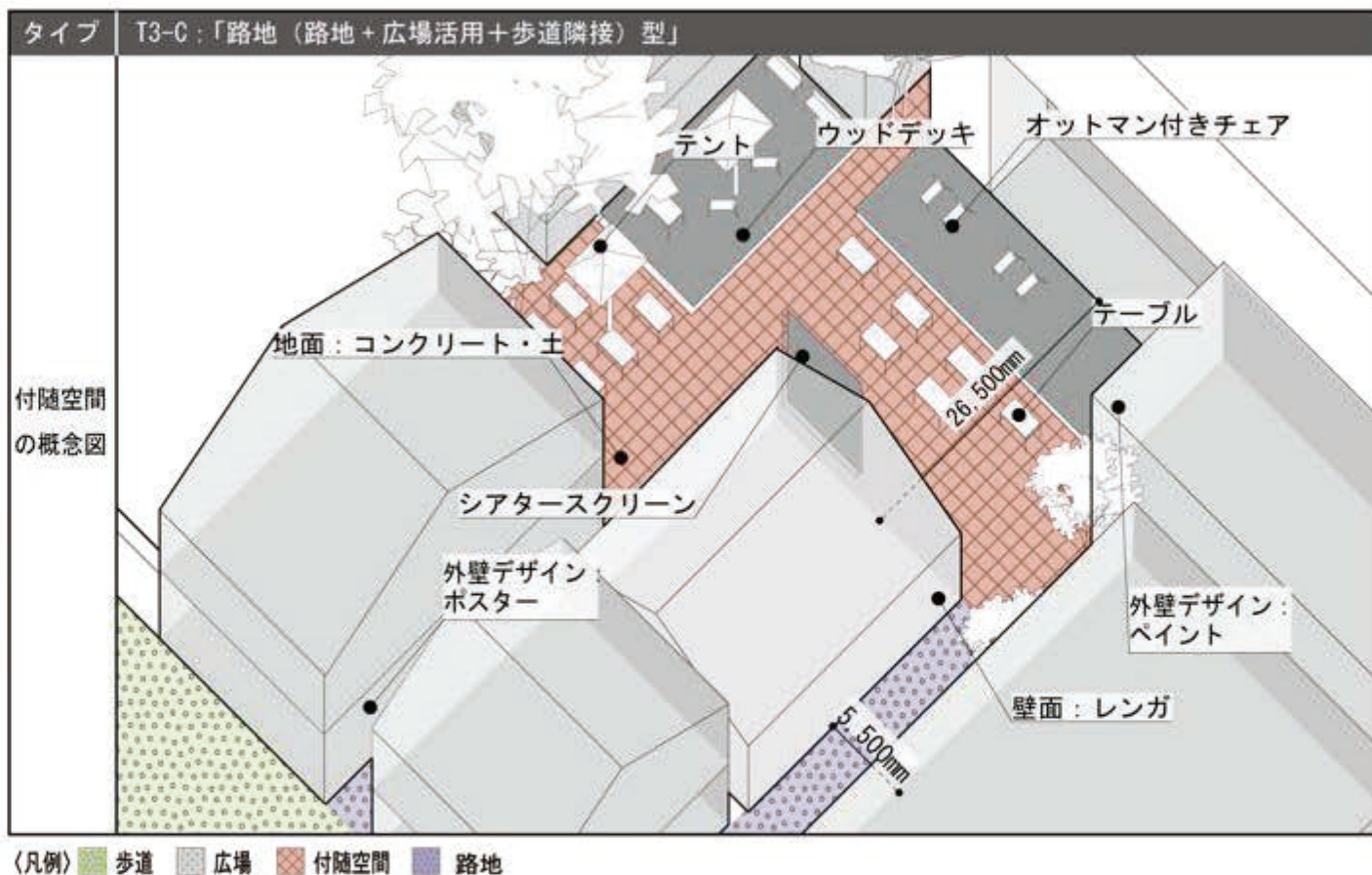
路地により歩道から隔離された空間

## T3 の空間特性

T3-A :  
「外壁囲み + 歩道隣接型」

T3-B :  
「腰壁囲み + 歩道隣接型」

T3-C :  
「路地型」



【T3 の特徴】 アンダーグラウンドな雰囲気

## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」

T4-B：  
「歩道活用型」

付随空間を持つ 2 タイプの空間特性を把握

## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」

T4-B：  
「歩道活用型」

タイプ | T4-A：「中庭活用型」



中庭を [ 付随空間 ] として活用

## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」

T4-B：  
「歩道活用型」

タイプ | T4-A：「中庭活用型」

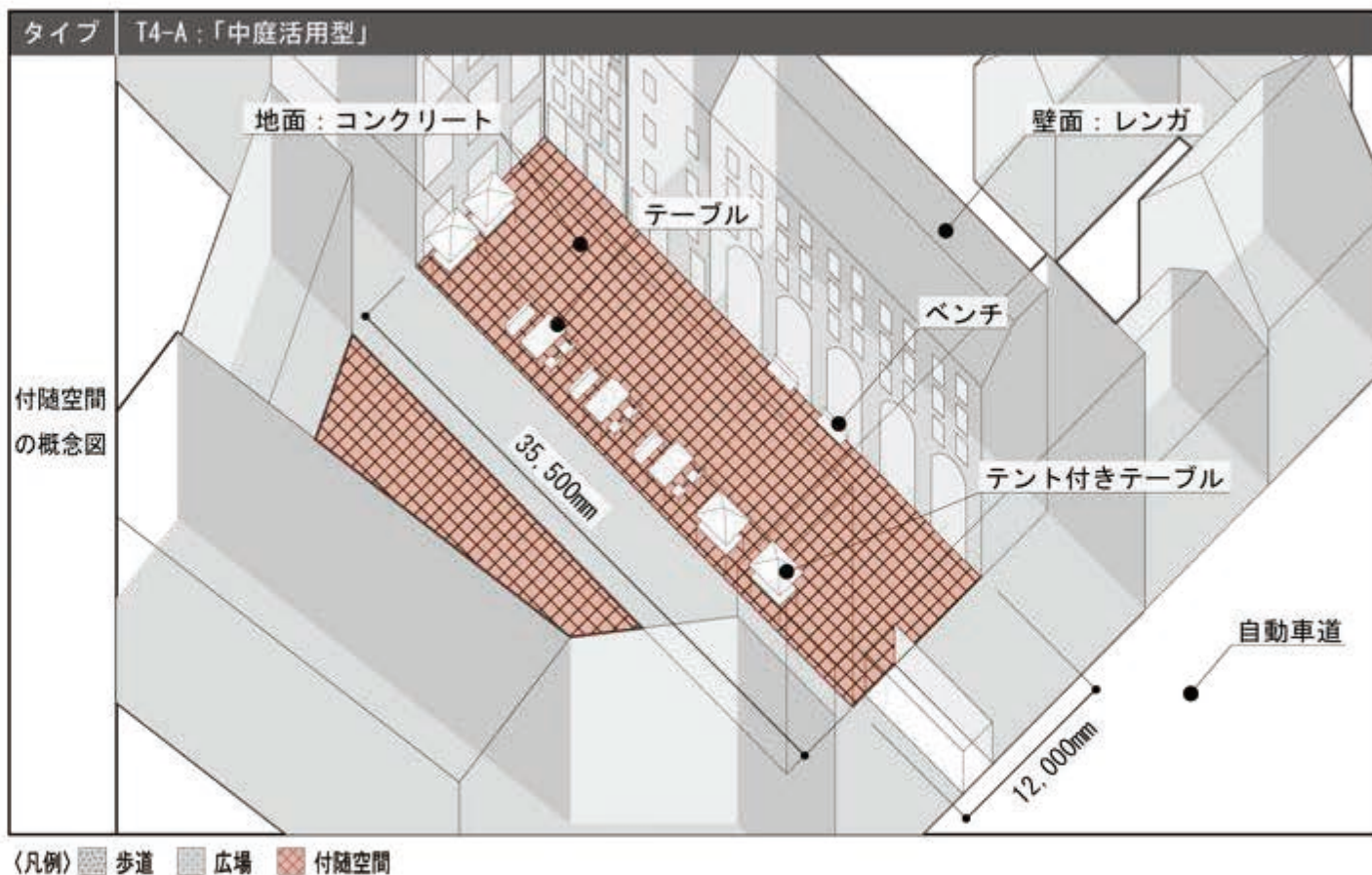


中庭を [ 付随空間 ] として活用

## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」

T4-B：  
「歩道活用型」



中庭に用途の溢れ出しがある空間



## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」

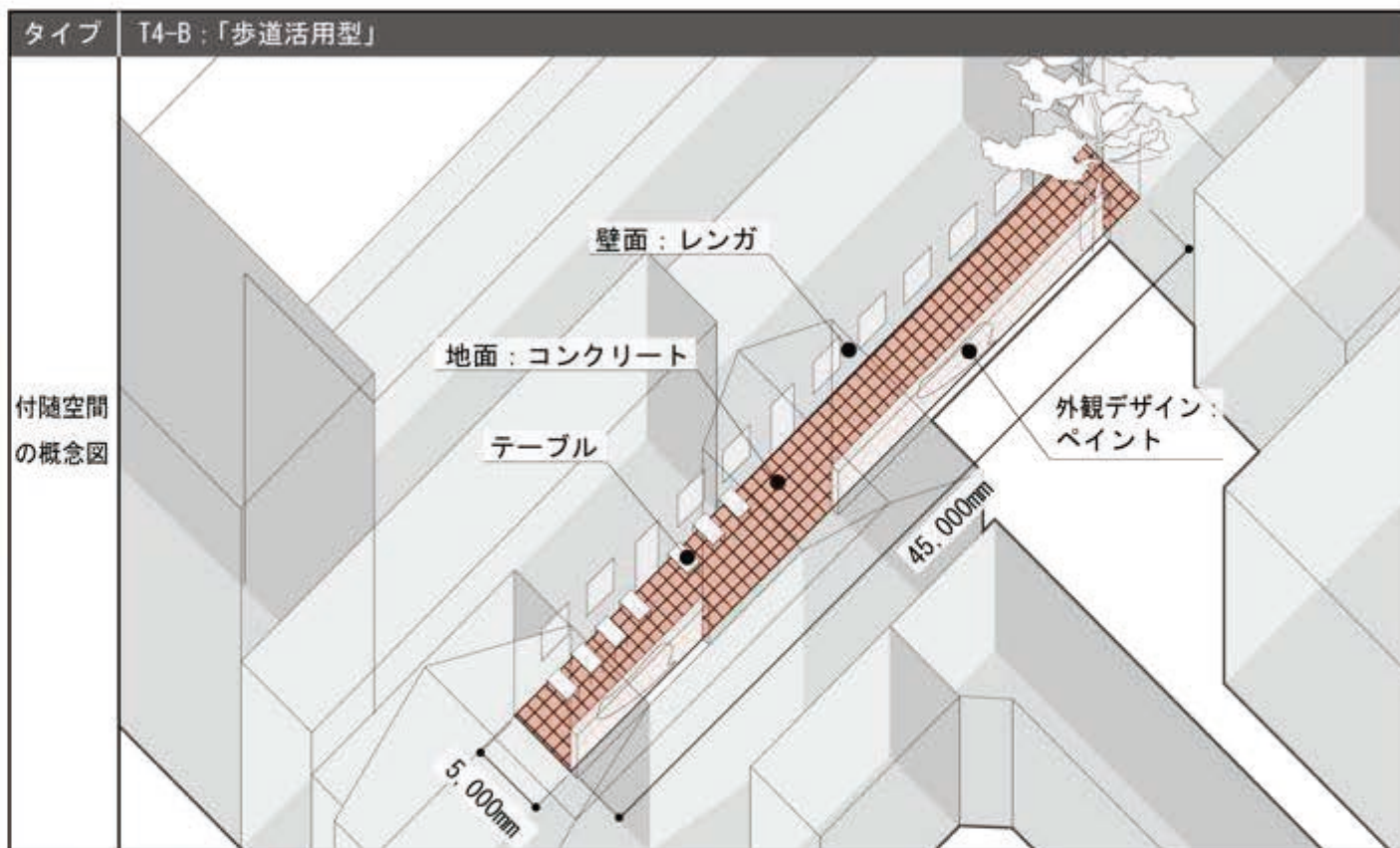
T4-B：  
「歩道活用型」

タイプ | T4-B：「歩道活用型」



「歩道」を「付随空間」として活用

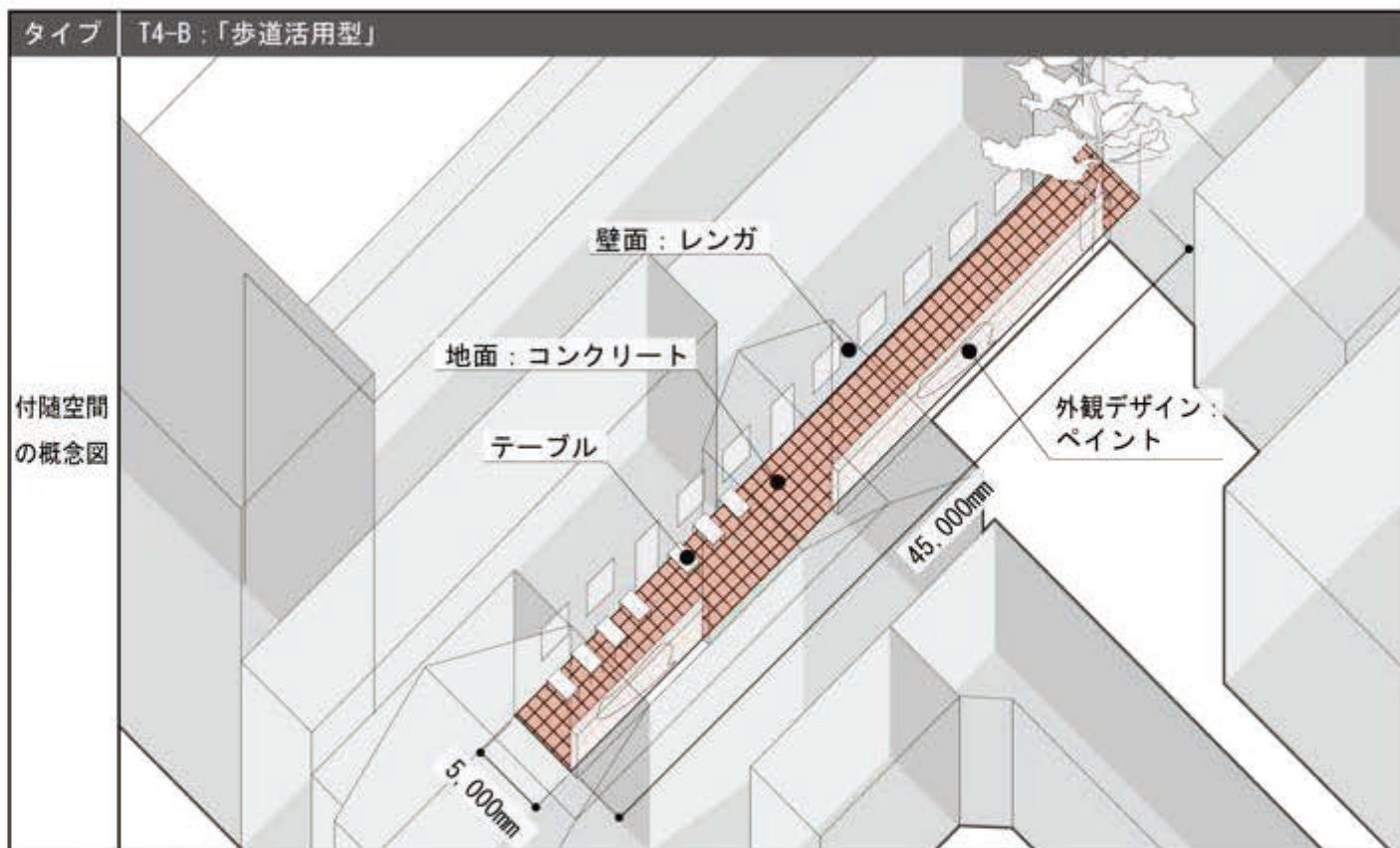
## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」T4-B：  
「歩道活用型」

〈凡例〉  歩道  広場  付随空間

**歩道**に用途の溢れ出しがある空間

## T4 の空間特性

T4-A：  
「中庭活用型」T4-B：  
「歩道活用型」

〈凡例〉  歩道  広場  付随空間

## 【T4 の特徴】 アーティストの作品展示による演出

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章] マクロスケール		[4章] メソスケール		[5章] ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
共通	<b>施設</b> ・大学、研究機関の集積 ・コワーキングスペースの集積	<b>産業組織</b> ・スタートアップ企業の推進 ・クリエイティブ産業のクラスター形成	<b>オフィス空間</b> [立地] 都市近郊 [規模] 小規模企業向け [形式] リノベーション	<b>空間活用</b> [用途の複合化] + [外部空間活用]による付随空間	<b>付随空間の種類</b> 活用型： 隣接型： 歩道活用型 (T2-C, T4-B) 歩道隣接型 (T1-B, T2-A, T3-A, B) 広場活用型 (T1-A, T4-A) 広場隣接型 (T2-B)	<b>設え</b> 活用型： 隣接型： 開放的な空間 閉鎖的な空間 設置物により アルコーブや外壁 滞留しやすい に囲まれた空間 空間を演出
アムステルダム	<b>低賃料のワークスペース</b> ・政府による制度として整備 ・エンドユーザーの設計・事業計画段階からの参画	<b>税制</b> 所得税免除、法人税減免などによる創造的な人材や企業誘致、海外企業からの投資促進  <b>場所のイメージ</b> ・寛容でオープンな気風 ・アバンギャルドなイメージ	<b>従前用途</b> 造船所： アーティストなど入居者自身の相互協力による活用・運営  ガス発電所： 都市と自然の間の段階的移行、公園を活用・運営	<b>用途</b> アーティストのアトリエ、大企業のオフィス、劇場、スケートパークなどの混在  カフェ、ギャラリー、映画館、ホテル、クリエイティブ企業のオフィスなどの混在	<b>付随空間の空間特性</b> ・広場への用途の溢れ出し ・隣接街区との一体的活用 ・港湾部の眺望 ・入居者の相互作用  ・公園内の眺望 ・人々の通行や用途の溢れ出しによる賑わい	
ベルリン	<b>安価な住環境</b> ・低賃料のオフィス 平均、15.10€/㎡ / 月 ・安価な住環境 平均、11.09€/㎡ / 月 による創造的な人材や企業誘致	<b>場所のイメージ</b> ・オープンでオルタナティブ、反抗的な気風、企業家精神、 ・アンダーグラウンドな資産	<b>貨物操車場</b> ： ヒッピー文化、オルタナティブ志向と独立性を資産として活用  <b>縫製工場</b> ： 工場に従事していた人々の住宅を現在も活用	<b>ポップアップ形式のギャラリー、期間限定レストラン、テクノクラブ、屋外シアターなどの混在</b>  低賃料の集合住宅、服飾店、アーティスト・イン・レジデンス、映画館、劇場、オフィスなどの混在	・人々の通行や用途の溢れ出しによる賑わい ・隔離された空間の集合  ・歩道への用途の溢れ出し ・建物に囲まれた中庭活用	アーティストの活動の場とアンダーグラウンドな雰囲気  来訪者の賑わいと住宅や文化施設の混在

## クリエイティブ産業における都市構造の特徴

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章]マクロスケール		[4章]メソスケール		[5章]ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
共通	<b>施設</b> ・大学、研究機関の集積 ・ワーキングスペースの集積	<b>産業組織</b> ・スタートアップ企業の推進 ・クリエイティブ産業のクラスター形成	<b>オフィス空間</b> [立地] 都市近郊 [規模] 小規模企業向け [形式] リノベーション	<b>空間活用</b> [用途の複合化] + [外部空間活用]による付随空間	<b>付随空間の種類</b> 活用型： 歩道活用型 (T2-C, T4-B) 広場活用型 (T1-A, T4-A)	<b>設え</b> 活用型： 開放的な空間 設置物により 滞留しやすい 空間を演出 隣接型： 閉鎖的な空間 アルコーブや外壁 に囲まれた空間



引用元：WSBI BLOG ESDIP Berlin



引用元：MediaLAB Amsterdam



引用元：CROWDFUNDING BERLIN

## 施設と制度による新事業の推進

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章]マクロスケール		[4章]メソスケール		[5章]ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
共通	<b>施設</b> ・大学、研究機関の集積 ・コワーキングスペースの集積	<b>産業組織</b> ・スタートアップ企業の推進 ・クリエイティブ産業のクラスター形成	<b>オフィス空間</b> [立地] 都市近郊 [規模] 小規模企業向け [形式] リノベーション	<b>空間活用</b> [用途の複合化] + [外部空間活用]による付随空間	<b>付随空間の種類</b> 活用型： 歩道活用型 (T2-C, T4-B) 広場活用型 (T1-A, T4-A)	<b>設え</b> 開放的な空間 設置物により 滞留しやすい 空間を演出 隣接型： 閉鎖的な空間 アルコーブや外壁 に囲まれた空間



引用元：eva NDSM 造船所



引用元：eva NDSM 造船所



都市近郊に立地、小規模企業向け、リノベ形式のオフィス空間

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章]マクロスケール		[4章]メソスケール		[5章]ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
共通	<b>施設</b> ・大学、研究機関の集積 ・コワーキングスペースの集積	<b>産業組織</b> ・スタートアップ企業の推進 ・クリエイティブ産業のクラスター形成	<b>オフィス空間</b> [立地] 都市近郊 [規模] 小規模企業向け [形式] リノベーション	<b>空間活用</b> [用途の複合化] + [外部空間活用]による付随空間	<b>付随空間の種類</b> 活用型： 歩道活用型 (T2-C, T4-B) 広場活用型 (T1-A, T4-A)	<b>設え</b> 活用型： 開放的な空間 設置物により 滞留しやすい 空間を演出 隣接型： 閉鎖的な空間 アルコーブや外壁 に囲まれた空間



[歩道活用型]



[広場活用型]



[歩道隣接型]



[広場隣接型]

開放的な空間

設置物により滞留しやすい空間を演出

閉鎖的な空間

アルコーブや外壁に囲まれた空間

## 4 タイプの付随空間

## まとめ

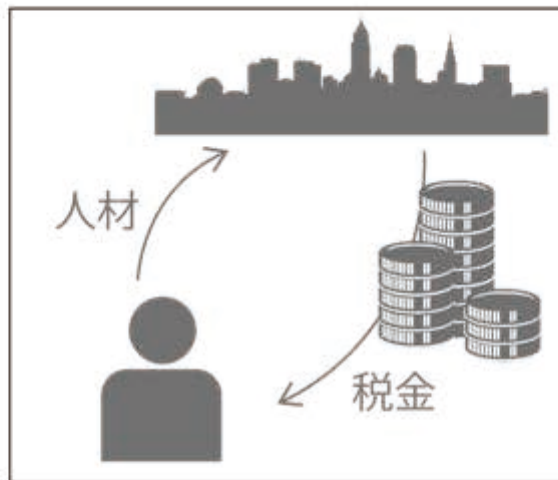
表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章] マクロスケール		[4章] メソスケール		[5章] ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
アムステルダム	<b>低賃料のワークスペース</b> ・政府による制度として整備 ・エンドユーザーの設計・事業計画段階からの参画	<b>税制</b> 所得税免除、法人税減免などによる創造的な人材や企業誘致、海外企業からの投資促進  <b>場所のイメージ</b> ・寛容でオープンな気風 ・アバンギャルドなイメージ	<b>従前用途</b> 造船所： アーティストなど入居者自身の相互協力による活用・運営	<b>用途</b> アーティストのアトリエ、大企業のオフィス、劇場、スケートパークなどの混在	<b>付随空間の空間特性</b>	
			<b>ガス発電所</b> ： 都市と自然の間の段階的移行、公園を活用・運営	<b>カフェ、ギャラリー、映画館、ホテル、クリエイティブ企業のオフィスなどの混在</b>	・広場への用途の溢れ出し ・隣接街区との一体的活用 ・港湾部の眺望 ・入居者の相互作用	・公園内の眺望 ・人々の通行や用途の溢れ出しによる賑わい



引用元：eva THE CITY AS A FRAMEWORK

利用者の意見を基にした都市開発



税制による人材、企業の誘致



引用元：I amsterdam Photo hotspots

都市のブランディング

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -



## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章]マクロスケール		[4章]メゾスケール		[5章]ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
アムステルダム	<b>低賃料のワークスペース</b> ・政府による制度として整備 ・エンドユーザーの設計・事業計画段階からの参画	<b>税制</b> 所得税免除、法人税減免などによる 創造的な人材や企業誘致、 海外企業からの投資促進  <b>場所のイメージ</b> ・寛容でオープンな気風 ・アバンギャルドなイメージ	<b>従前用途</b> 造船所： アーティストなど入居者自身の 相互協力による活用・運営	<b>用途</b> アーティストのアトリエ、 大企業のオフィス、劇場 スケートパークなどの混在	<b>付随空間の空間特性</b>	
			<b>ガス発電所</b> ： 都市と自然の間の段階的移行、 公園を活用・運営	<b>カフェ、ギャラリー、映画館、            ホテル、クリエイティブ企業の            オフィスなどの混在</b>	・広場への用途の溢れ出し ・隣接街区との一体的活用 ・港湾部の眺望 ・入居者の相互作用  ・公園内の眺望 ・人々の通行や用途の溢れ出し による賑わい	アーティストの自律的な コミュニティ  緑地や運河、公園の運営・活用 による自然環境との共生



引用元：eva NDSM SHIPYARD

元造船場を活用



大企業のオフィス、アーティストのアトリエが混在



引用元：eva ART CITY NDSM

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

[3章]マクロスケール		[4章]メソスケール		[5章]ミクロスケール	
ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
<b>低賃料のワークスペース</b> ・政府による制度として整備 ・エンドユーザーの設計・事業計画段階からの参画	<b>税制</b> 所得税免除、法人税減免などによる創造的な人材や企業誘致、海外企業からの投資促進  <b>場所のイメージ</b> ・寛容でオープンな気風 ・アバンギャルドなイメージ	<b>従前用途</b> 造船所： アーティストなど入居者自身の相互協力による活用・運営	<b>用途</b> アーティストのアトリエ、大企業のオフィス、劇場、スケートパークなどの混在	<b>付随空間の空間特性</b>	
		<b>ガス発電所</b> ： 都市と自然の間の段階的移行、公園を活用・運営	<b>カフェ、ギャラリー、映画館、ホテル、クリエイティブ企業のオフィスなどの混在</b>	・広場への用途の溢れ出し ・隣接街区との一体的活用 ・港湾部の眺望 ・入居者の相互作用	・公園内の眺望 ・人々の通行や用途の溢れ出しによる賑わい



「広場活用型」



「腰壁囲み + 歩道隣接型」



「入れ子型」

## アーティスト間の自律的なコミュニティ形成

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章]マクロスケール		[4章]メソスケール		[5章]ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
T3	<b>安価な住環境</b> ・低賃料のオフィス 平均: 15.10€/m <sup>2</sup> /月 ・安価な住環境 平均: 11.09€/m <sup>2</sup> /月 による創造的な人材や企業誘致	<b>場所のイメージ</b> ・オープンでオルタナティブ、 反抗的な気風、企業家精神 ・アンダーグラウンドな資産	<b>従前用途</b> 貨物停車場: ヒッピー文化、オルタナティブ志向 と独立性を資産として活用  縫製工場: 工場に従事していた人々の 住宅を現在も活用	<b>用途</b> ポップアップ形式のギャラリー、 期間限定レストラン、テクノクラブ 屋外シアターなどの混在  低賃料の集合住宅、服飾店 アーティスト・イン・レジデンス、 映画館、劇場、オフィスなどの混在	<b>付随空間の空間特性</b>	
T4			・人々の通行や用途の溢れ出し による賑わい ・隔離された空間の集合	アーティストの活動の場と アンダーグラウンドな雰囲気  来訪者の賑わいと 住宅や文化施設の混在		

Location	Office Space Take-up in m <sup>2</sup> incl. owner-occupied	Lease take-up in m <sup>2</sup>	Number of lease contracts	Sustainable Rents in €/m <sup>2</sup>	Average Rent in €/m <sup>2</sup> /month	Vacancy <sup>1)</sup> in m <sup>2</sup>
Centre West	34,700	31,500	74	8.33-23.50	17.60	22,600
Centre East	65,700	33,100	172	12.00-25.50	17.56	53,300
Postdammer Platz / Alexanderplatz	26,300	25,300	28	18.90-28.00	21.12	28,100
City East	251,100	245,700	235	5.00-23.20	16.24	107,100
City West	78,100	59,600	94	6.75-19.00	12.89	127,100
City Suburbs	116,600	163,900	142	6.00-19.00	12.54	194,300
Periphery	178,100	170,600	174	4.30-20.13	13.50	146,000
Total	843,000	789,900	922	4.30-26.00	15.10	684,000

<sup>1)</sup> Vacancy: obtainable new buildings and nascent inventory spaces within 3 months  
 Colliers International, Market REPORT Berlin 2015/2016, Office Leasing and Investment

引用元: Colliers International Market Report Berlin 2015/2016

低賃料のオフィス、安価な住環境



引用元: GleitzeitBerlin

都市のブランディング

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章] マクロスケール		[4章] メゾスケール		[5章] ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
	<b>安価な住環境</b>		<b>従前用途</b>		<b>付随空間の空間特性</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>低賃料のオフィス 平均, 15.10€/m<sup>2</sup>/月</li> <li>安価な住環境 平均, 11.09€/m<sup>2</sup>/月</li> </ul> による創造的な人材や企業誘致		<b>場所のイメージ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンでオルタナティブ、反抗的な気風、企業家精神</li> <li>アンダーグラウンドな資産</li> </ul>		<b>用途</b>	
ベルリン			<b>貨物操車場:</b> ヒッピー文化、オルタナティブ志向と独立性を資産として活用		<b>人々の通行や用途の溢れ出し</b> による賑わい ・隔離された空間の集合	
T3			<b>縫製工場:</b> 工場に従事していた人々の住宅を現在も活用		<b>アーティスト・イン・レジデンス</b> ・アーティストの活動の場とアンダーグラウンドな雰囲気 ・歩道への用途の溢れ出し ・建物に囲まれた中庭活用	
T4			<b>低賃料の集合住宅、服飾店</b> アーティスト・イン・レジデンス、映画館、劇場、オフィスなどの混在		<b>来訪者の賑わいと</b> 住宅や文化施設の混在	



元縫製工場を活用



アーティスト・イン・レジデンスや劇場、オフィス



## まとめ

表. クリエイティブ産業における都市構造の特徴

	[3章]マクロスケール		[4章]メソスケール		[5章]ミクロスケール	
	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面	ハード面	ソフト面
	<b>安価な住環境</b> ・低料金のオフィス 平均.15.10€/m <sup>2</sup> /月 ・安価な住環境 平均.11.09€/m <sup>2</sup> /月 による創造的な人材や企業誘致		<b>場所のイメージ</b> ・オープンでオルタナティブ、 反抗的な気風、企業家精神、 ・アンダーグラウンドな資産		<b>付随空間の空間特性</b>	
ベルリン			<b>従前用途</b> 貨物操車場： ヒッピー文化、オルタナティブ志向 と独立性を資産として活用  縫製工場： 工場に就いていた人々の 住宅を現在も活用	<b>用途</b> ポップアップ形式のギャラリー、 期間限定レストラン、テクノクラブ 屋外シアターなどの混在  低料金の集合住宅、服飾店 アーティスト・イン・レジデンス、 映画館、劇場、オフィスなどの混在	・人々の通行や用途の溢れ出し による賑わい ・隔離された空間の集合	アーティストの活動の場と アンダーグラウンドな雰囲気
T4					・歩道への用途の溢れ出し ・建物に囲まれた中庭活用	来訪者の賑わいと 住宅や文化施設の混在



「広場活用型」



「歩道活用型」

## アーティストの作品展示による空間演出

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

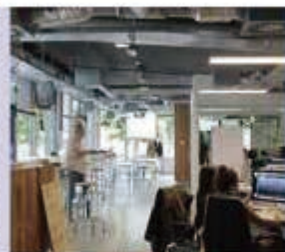
## まとめ

## マクロスケール

## メソスケール

## ミクロスケール

ハード面



[研究機関の集積]



[コワーキングスペースの集積]



[立地：都市近郊]



[形式：リノベーション]



[歩道活用型]



[広場活用型]



[スタートアップ企業支援]



[都市ブランディング]



[従前用途：造船場]



[用途の複合化]+[外部空間活用]



[歩道隣接型]



[広場隣接型]

ソフト面



[利用者による都市開発]



[税制による人材・企業誘致]



[大企業のオフィス]



[アーティストのアトリエ]



[入れ子型]



[路地型]

## 都市構造からみるクリエイティブ産業の集積要因

## クリエイティブ産業における都市構造の試論

- ベルリン・アムステルダムを事例とした街区の空間特性 -

伊藤孝紀研究室 三宅 航平